

平成20年度

事務事業の点検・評価実施報告書

(平成19年度事務事業対象)

高松市教育委員会

目次

◎はじめに	ページ
1 趣旨	1
2 点検・評価の対象	1
3 点検・評価の方法	1
4 点検・評価結果の構成	1
◎点検・評価結果	
I 点検・評価の概要	2
II 重点施策別の点検・評価	
1 生きる力をはぐくむ学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	5
(2) 教育の情報化の推進	7
(3) 豊かな心と体を育てる教育活動の推進	9
(4) 人権尊重の精神を高める人権教育の推進	12
(5) 特別支援教育の推進	14
(6) 幼・小・中の連携の推進	15
(7) 幼稚園教育の充実	16
(8) 魅力ある高等学校教育の推進	18
(9) 教員の資質向上と教育に関する調査研究の推進	20
(10) 子どもの安全対策	22
(11) 学校教育環境の整備	24
2 豊かな市民性と社会連帯感を育てる生涯学習の推進	
(1) 生涯学習の推進	26
(2) 生涯学習関連施設の整備と機能の充実	29
(3) 青少年健全育成の推進	30
(4) 社会教育関係団体の育成と指導者の養成	33
(5) 人権問題の認識を深める社会人権教育の推進	34
3 暮らしにゆとりとうるおいをもたらす文化芸術の振興	
(1) 文化振興施策および文化芸術活動の推進	36
(2) 文化財の保存と活用	38
◎教育施設等の概況	
1 学校等	40
2 学校給食調理場	45
3 少年育成センター	45
4 教育研究所	45
5 社会教育施設	46

はじめに

1 趣 旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理執行状況について、自己点検および評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

また、評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてとされています。

そこで、高松市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するため、「教育委員会事務事業の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

教育委員会では、青少年の健全育成など重要課題に対応し、心豊かな人間を育成するため、毎年度、「高松市の教育基本方針および教育行政の重点施策」を作成しています。

点検・評価の対象は、この「高松市の教育基本方針および教育行政の重点施策」に掲げられた重点施策項目としています。

3 点検・評価の方法

- (1) 重点施策項目に掲げられた事業の主管課において、事業の実施内容、得られた成果を点検し、自己評価をします。
- (2) 教育委員会は、主管課の自己評価をもとに、重点施策項目ごとに評価をします。

4 点検・評価結果の構成

(1) 点検・評価の概要

「生きる力をはぐくむ学校教育の推進」、「豊かな市民性と社会連帯感を育てる生涯学習の推進」および「暮らしにゆとりとうるおいをもたらす文化芸術の振興」の3つの施策について、総括的な評価を行っています。

(2) 重点施策別の点検評価

① 目 標

「高松市の教育基本方針および教育行政の重点施策」18項目について、項目ごとの目標を掲げています。

② 実施事業一覧

項目毎に実施事業の計画内容と実施後の内容を掲載しています。

③ 評 価

事業に対する主管課の自己評価を踏まえ、項目ごとに総括した評価として、まとめています。

④ 課題と今後の取り組み

実施事業の結果を点検し、今後の方向性や改善点として、まとめています。

⑤ 学識経験者の主な意見

点検・評価に当たっては、次の学識経験者からいただいた意見を掲載しています。

氏 名	所 属 等
新 見 治	香川大学教育学部長
田 中 良子	高松大学発達科学部教授
横 山 忠則	高松市 PTA 連絡協議会会長

I 点検・評価の概要

平成18年12月に教育基本法が約60年ぶりに改正され、その後、平成19年6月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律や学校教育法、教育職員免許法及び教育公務員特例法が改正されるなど、平成19年度は、教育に大きな変革が行われました。

平成19年度の教育基本方針として、教育基本法の精神にのっとり「1 生涯にわたって学ぶ意欲と豊かな創造力を育成すること」、「2 たくましい精神と強健な身体を育成すること」、「3 誠実で豊かな人間性を育成すること」および「4 社会連帯の精神と国際性を育成すること」の4つの目標を掲げ、その目標達成のために「生きる力をはぐくむ学校教育の推進」などの4つの施策に重点を置いて事業を推進しました。

4つの重点施策のうち、「スポーツ・レクリエーションの振興」は、平成20年4月の組織改編によって市長部門の所管となったことから、今年度は、平成19年度の重点施策のうち、現在の教育委員会の所管である「生きる力をはぐくむ学校教育の推進」、「豊かな市民性と社会連帯感を育てる生涯学習の推進」および「暮らしにゆとりとuringおいをもたらす文化芸術の振興」の3つの重点施策の事務・事業について点検・評価を行いました。

本市教育委員会としては、おおむね、ねらいとする成果を得られたと考えておりますが、平成19年度の研究・検討を踏まえて、さらに充実していかねばならない事業や、国の定める基準の早期達成を目指さなければならない事業も明らかになりました。

今後は、今回の点検・評価であらわれた課題や問題点を踏まえ、本市の教育行政の一層の向上に努めていきます。

1 生きる力をはぐくむ学校教育の推進

「確かな学力」「豊かな心と体」「人権尊重」などの子どもたちの「生きる力」をはぐくむ学校教育を目標に、「確かな学力の育成」や「教育の情報化の推進」「豊かな心と体を育てる教育活動の推進」など、11の項目、主な事業としては66の事業を実施しました。

これらの事業は、おおむね予定どおり実施され、一定の成果を得ることができましたが、帰国児童等指導援助が不十分との現場の声があり、特に中国語の指導者が不足していることや、学校課題の解決に向けて、訪問指導を年度始めから行うなどの充実が必要であること、さらに、学校図書館図書標準達成のための図書整備、国のIT新改革戦略の整備水準達成に向けた教育用パソコンの整備などが今後の課題であることが明らかになりました。

また、小中一貫教育や、幼稚園・小学校の連携、幼・保一体化など幼稚園のあり方、教員の資質向上などにおける、これまでの研究・検討で得られた成果を今後に生かすことが必要であると考えています。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

◎ 広範な分野に及ぶ多数の事業の実施を通して、児童生徒の学習・発達を支援する学校教育に着実な進展が認められる。今後は、児童生徒の発達課題や

学校教職員の置かれた厳しい現実に配慮され、事業の精選や重点化なども検討されて良いであろう。

- ◎ 様々な家庭環境で育っている子どもに対して、大人の与える最良のものを等しく提供する義務を果たすという原点に立つと、学校教育の場において、良識ある市民として自己の個性を発揮して生きるモデルとしての教員の資質を問い、その向上を図るために、根本的な対策を講じることが重要であると考えます。

2 豊かな市民性と社会連帯感を育てる生涯学習の推進

地域における学習機会の拡充や青少年の健全育成のため、生涯学習関連施設の整備や、社会教育関係団体の育成、体験活動や学習機会の確保などにより、豊かな市民性と社会連帯感を育てることをねらいとした生涯学習を目標に、「生涯学習の推進」や「生涯学習関連施設の整備と機能の充実」など5の項目、主な事業としては、27の事業を実施しました。

これらの事業は、おおむね予定どおり実施され、香川図書館の開館による、市南部地域の図書館サービスの充実をはじめ、生涯学習関連施設の情報システム整備など、一定の成果を得ることができました。

今後は、放課後の子どもの居場所づくりが重要になっている中、留守家庭児童会の待機児童の解消や、国が新たに打ち出した放課後子ども教室などに対応できる指導者の養成などに、さらに努めていくことが必要であると考えています。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ◎ 地域の自然や文化を保全し次世代に継承していくには、生涯学習の進展が必要である。とりわけ、高松の自然、文化そして科学に関わる学習センター機能を充実させるために、既設の博物館・資料館等施設のネットワーク化や活動内容の点検等に取り組むことを期待する。
- ◎ 高松市民の成熟と幸福を目指して、各活動への参加、施設利用の現状分析から、理想の状態への目標を、可能な限り数値化することも、重要である。

3 暮らしにゆとりとうるおいをもたらす文化芸術の振興

文化芸術の裾野を広げる多様な文化事業の展開による、地域の芸術環境や人材の育成、市民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化財に触れる機会を提供し、郷土の歴史民俗についての関心と理解を深め、文化財愛護意識をはぐくむことを目標に、「文化振興施策および文化芸術活動の推進」など3つの項目、主な事業としては、36の事業を実施しました。

なお、今回の点検・評価に当たっては、文化に関すること（文化財の保護に関するものを除く）について、平成20年4月1日から市長が管理・執行することになったことから、現在も、教育委員会で所管している「文化振興施策および文化芸術活動の推進」および「文化財の保存と活用」の2つの項目のうち、歴史資料館や菊池寛記念館の事業、屋嶋城跡や高松城跡、石清尾山古墳群などの発掘・保存事業、文化財学習会など19の事業を対象に点検・評価を実施しました。

これらの事業は、おおむね予定どおり実施され、文学や郷土の歴史民俗につ

いての市民の関心と理解を深めることに一定の成果を得ることができました。

今後は、市内小学校の高学年を対象にしたサンクリスタル高松での体験学習への参加者増や、各館での講座や文学展の充実、発掘調査等の結果を活用し、保存・活用に努めていくことが必要であると考えています。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ◎ 日本初の国立公園である備讃地域の豊かな自然・歴史・文化に関する学術研究や、地域の文化芸術活動の拠点としての発展を支援するよう事業の展開に期待したい。
- ◎ 自分の住んでいる地域の文化や歴史民俗に関する人的・物的資源に触れる機会を、生涯にわたって保障することは、個人の生活を豊かにする基盤となるものであり、各年代に応じた活動を創意工夫して展開することが、重要である。

II 重点施策別の点検・評価

1 生きる力をはぐくむ学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

《目標》

教科指導においては、児童生徒の基礎学力の向上をめざし、指導方法や指導体制を工夫改善し、わかる授業を展開する。また、総合的な学習の時間等においては、地域等の教育力の有効活用を図るとともに、体験的・問題解決的な学習を通して認識を深める学習の推進を図る。

【実施事業一覧】

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
総合的な学習の時間活性化推進事業 (学校教育課)	総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のために、各小・中学校に経費を支援する。	7,180	総合的な学習の時間を活性化するため活動費を支給した。 小学校53校、中学校23校 (1校当り75,000円～132,000円)	7,180
帰国児童等指導援助事業 (学校教育課)	日本語指導を必要とする帰国児童生徒・外国人児童生徒に対して、学習や生活についての指導援助を行う指導者を派遣することにより、日本語指導の充実を図る。	1,712	小学校8校児童18人、中学校6校生徒11人に、 中国語154回 英語52回 タガログ語52回 スペイン語14回 6人の指導者を派遣した。	1,712
英語指導助手派遣事業 (学校教育課)	各学校に外国語指導助手(ALT)を派遣することにより、中学校英語教育および小学校英語活動の充実を図るとともに、国際理解教育の推進を図る。	55,045	外国語指導助手(ALT)11人を招致し各学校に派遣し、中学校英語教育および小学校英語活動の推進を図った。	53,904
小学校における英語活動等国際理解活動推進事業 (学校教育課)	小学校における英語教育の充実を図るため、教材の配布、ALTや地域人材の効果的な活用を含む拠点校施設を中心とした取組みを推進する。	1,050	文部科学省による「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」を受け、モデルとし、全小学校の水準を上げるために、高松市立鬼無小学校を拠点校として指定した。 年に2回、全小学校から代表教員を対象に、英語活動についての教員研修を行った。	1,050
学校訪問・要請訪問 (学校教育課)	学校課題の解決に向けた取組みを支援したり、児童生徒に基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせたりすることができるよう各学校に指導方法の改善を図る支援をする。	—	学校訪問を76校(小53校、中23校のすべての小中学校)、要請訪問をのべ223校(幼48園、小97校、中78校)行った。	—

《評価》

総合的な学習の時間の活性化において、調べ学習への興味・関心の深まりや、コミュニケーション能力の育成が得られるとともに、自己の将来や生き方についての考えを深めることができた。日本語指導を必要とする児童、生徒に対しては、指導者の派遣により学校生活に順応できるという成果を得られた。文部科学省から「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」の指定を受け、英語活動についての教員研修を行うとともに、外国語

指導助手（ALT）や地域人材を効果的に活用した結果、英語活動の推進や水準の向上につながった。

また、教員の指導技術の向上や指導方法の充実・工夫を図るため、各学校において、定期的に校内現職教育の機会を設け、研究授業や指導者を招いての研修を行うほか、香川県中学校教育研究会、香川県小学校教育研究会ならびに香川県幼稚園教育研究会等が主催する研究会にも、年間を通して定期的に参加している。これらにより、学校の指導力の維持・向上が図られ、本市の児童・生徒の学力は、全国的にも高い水準となっている。

《課題と今後の取り組み》

- ・総合的な学習の時間活性化をさらに推進するためには、時間と必要経費が多くなり、より計画的に工夫し学習を進める必要がある。
- ・帰国児童等指導援助については、年間12回の派遣回数では不十分との学校からの声がある。また、中国語については、派遣できる指導者の不足の解消が必要である。
- ・学校課題の解決に向けた取り組みについては、できる限り、学校の要請に応えられるよう、年度の初めから訪問指導を行っていく必要がある。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・各学校における日常的な教育実践活動の充実および教育課題の解決を支援するという観点から学校訪問等が果たす役割は重要であり、さらなる充実を期待したい。
- ・総合的な学習の時間活性化推進事業は、児童の思考力を高めるとともに、コミュニケーション能力、地域の教育力との相互作用を豊かにするもので、生きる力をはぐくむ教育の根幹にかかわる活動と評価できる。各現場での十分な現状把握と分析・検討の上、さらなる充実が期待される。
- ・総合的な学習の時間活性化については、今後の取り組みに示されているとおり、もう少し経費をかけてほしい。
- ・日本語指導や学習・生活指導を必要とする児童・生徒に対する援助をもっときめ細やかに行ってほしい。
- ・小学校における英語指導は、専門性のある指導員（英語指導助手）の増員による充実が必要であると思う。

(2) 教育の情報化の推進

《目標》

情報社会における児童生徒の情報活用能力を育成するために、インターネットや校内LANを始めとするネットワーク環境やICT機器の整備の充実を図るとともに、学習・情報センター、読書センターとしての学校図書館の活性化を推進する。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
視聴覚等教育教材整備 (学校教育課)	児童生徒の情報活用能力を育成するため、各校のコンピュータおよび周辺機器の整備を行う。	408,983	教育用パソコンを、次のとおり整備した。 小学校総設置台数 3,770 台 中学校総設置台数 1,838 台	404,114
高松市教育情報通信ネットワークシステム管理事業 (教育研究所)	高松市教育情報通信ネットワークシステム (TENS) を整備し、学校における「教育の情報化」の基幹システムとして、その運用管理を行う。	22,345	高松市教育情報通信ネットワークシステム (TENS) を学校における「教育の情報化」の基幹システムとして、その運用管理を行った。	21,871
地域イントラネットおよび校内ネットワーク活用推進 (教育研究所)	教育の情報化のために整備されている、地域イントラネット、校内ネットワーク、教育用コンピュータ等の校務・授業での活用を推進するために、教職員の ICT 活用能力を向上させるための支援と情報の提供に努め、各学校における情報化推進リーダー (TENS 取扱責任者) と連携した支援を行う。	—	各小中学校の情報化を支える教員を育成するために、TENS 取扱責任者研修会や ICT 能力向上研修会等を実施した。 校務の能率化を図るため TENS による Web アンケートシステム等を構築した。	—
学校図書館用図書整備 (学校教育課)	高松市子ども読書活動推進計画に基づき、学校図書館図書資料の充実を図る。	37,598	各小・中学校の蔵書冊数に応じて予算配当を行い、図書資料の充実を図った。各校とも 2%～3% の蔵書数の増加となった。	36,997
学校図書館活性化推進事業 (学校教育課)	専門的な知識や資格を持つ学校図書館指導員を、学校規模に応じて、児童生徒数が 700 人を超える大規模の学校には週 3 日、200 人から 700 人未満の中規模の学校には週 2 日、200 人名を下回る小規模の学校には週 1 日配置し、読書相談や、読み聞かせなどにより、子どもの読書意欲を向上させ、豊かな人間性をはぐくむとともに、学校図書館図書のデータベース化などを推進し、学校図書館の環境整備を促進する。	65,124	学校規模に応じて、児童生徒数が 700 人を超える大規模の学校には週 3 日、200 人から 700 人未満の中規模校には週 2 日、200 人を下回る小規模校の学校には週 1 日、図書館教育に関する専門的な知識や資格をもつ学校図書館指導員を配置した。すべての小中学校において、学校図書館図書をデータベース化し、本の検索や貸出、返却の迅速化、図書利用に関する統計作業の効率化を図った。	64,280

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
子ども読書活動 推進事業 (学校教育課)	年齢層に応じた推薦図書のブックリストを作成し、ホームページ等で広く市民に知らせることで、子どもが読み聞かせをしてもらったり、読みたい本を探したりすることの手助けをする。	92	年齢層に応じた推薦図書をそれぞれ 30 冊程度紹介したブックリストを作成し、各小・中学校をはじめ、市立図書館、保健所等配布したり、ホームページに掲載したりして、広く市民に知らせた。	86

《評価》

ネットワーク環境の整備として、教育用パソコンを整備し、e-Japan 戦略の整備水準を達成するとともに、高松市教育情報通信ネットワークシステム（TENS）の運用管理を行い、幼稚園、小・中学校においてホームページによる情報発信が定着するなど、教育の情報化の進展が図られた。

また、学校図書館活性化については、学校図書館指導員による図書の紹介や読み聞かせなどにより読書意欲を高めることができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・学校ごとの学校図書館図書標準の早期達成を目指していくとともに、学校図書館指導員の計画的な配置や、学校図書館のデータベースの充実など、今後とも環境整備に努めていく必要がある。
- ・子ども読書活動の推進のため、ブックリストの活用をさらに広げていく。
- ・教育用パソコンについては、今後、国の IT 新改革戦略の整備水準達成に向け、整備を進めていく必要がある。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・学校図書館を整備し児童生徒の読書活動を支援することは情報活用能力の育成にとって重要であり、各学校の図書資料の充実と学校図書館指導員の配置を推進されたい。
- ・図書を友とすることは生涯学習の礎となるものであるから、どの子にも利用できる学校図書館の人的・物的資源の充実とネットワーク化において、整備水準の達成、充実をさらに進められたい。
- ・学校図書館図書整備は、蔵書の増には上限はないと思われるので、できる限りの増をお願いしたい。
- ・読書環境を整えるためには、学校図書館に常勤の指導員を置く必要があると思う。

(3) 豊かな心と体を育てる教育活動の推進

《目標》

道徳性や社会性、豊かな感性などを養い、人間形成の基本として重要な豊かな人間性やたくましい心と体を育て、自立を高める教育を推進する。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
いじめ等対策事業（スクールカウンセラー配置） （学校教育課）	いじめや不登校等の重大性を認識し、正確かつ迅速な状況把握と早期解決に向けて小学校の教育相談体制の充実を図り、児童へのカウンセリングや、教職員、保護者への専門的助言・援助、教員等に対する事例研究への参画、専門機関への紹介等、スクールカウンセラーの効果的な活用を図る。	4,638	県と12学級以上の小学校20校にスクールカウンセラーを配置し、報酬等の経費の2分の1を負担した。 ※なお、国・県の負担により中学校23校 小学校17校で配置されており、市全体では小中あわせて60校に配置されている。	2,566
新設統合第二小学校教育推進事業 （学校教育課）	日新、二番丁、四番丁の3小学校を統合する新設統合第二小学校（仮称）における特色あるカリキュラムの開発や学校運営のシステムの構築等、新設統合校の教育内容の創造に向けて必要な調査・研究を行う。	913	平成19年度においては、カリキュラム開発のために、カリキュラム研究会を開催し、作業部会（教務現教、幼・保・小連携、高松学習検討）を立ち上げるとともに、視察等を行った。 ・カリキュラム研究会5回開催 ・作業部会6回開催 ・視察等4か所実施	913
児童生徒指導推進事業 （学校教育課）	中学校が生徒指導に関する地域ボランティアを募り、学校サポート委員会を組織し、地域の教育力を生かしながら児童生徒の健全育成を図るとともに、高松市地域サポートチームの効果的運用を支援する。	150	市内23中学校に対して、各校の実態に応じて地域ボランティアを募り各校の推薦により、市教委より委嘱して全ての中学校で組織化を図った。	144
小児生活習慣病予防検診 （保健体育課）	小学校4年生の希望者を対象に血液検査を行い、有所見者に小児生活習慣病予防の個別指導を実施し、改善に努める。あわせて、小学1年生から中学3年生までの肥満傾向児に個別指導を行う。	7,974	小学校4年生の希望者を対象に血液検査を行い、有所見者に小児生活習慣病予防の個別指導を実施し、改善に努めた。あわせて、小学校1年生から中学校3年生までの肥満傾向児に個別指導を行った。 対象者 3,977人	7,960
適応指導教室推進事業 （教育研究所）	不登校に関する教育相談や不登校児童生徒の集団生活への適応支援を行う適応指導教室「虹の部屋」「みなみ」を設置し、関係学校や機関と連携し、学校復帰や将来への自立につながる社会性や人間関係調整力の育成を推進する。	17,564	学校復帰や将来への自立につながる社会性や人間関係調整力の育成を推進する目的で、適応指導教室「虹の部屋」「みなみ」を設置し、関係学校や機関と連携を図った。通級者52人のうち20人が学校復帰した。	17,257

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
不登校対策事業 （教育研究所）	不登校児童生徒や保護者への支援として、カウンセラー等の専門家を派遣する「親の会」「不登校を考える会」等を実施し、学校や家庭、関係機関の連携を図るとともに、ICT等を活用した不登校児童生徒への支援のあり方についての調査研究を実施する。	2,921	不登校児童生徒や保護者への支援として「親の会」「不登校を考える会」等を実施するとともに、小中25校に、のべ108回のカウンセラーを派遣し、学校・家庭・関係機関の連携を図った。 ICT等を活用した不登校児童生徒への支援のあり方についての調査研究を実施した。	2,561
「高松市子ども議会」の開催 （学校教育課）	小・中学校の児童生徒の代表が、市議会の模擬議会体験を通し、未来の有権者として市政について理解を深め、関心を持たせる。	29	平成19年11月13日に開催し、小学生26人、中学生11人が参加した。	17
学校給食推進事業 （保健体育課）	学校給食を通して、正しい食習慣や健康管理能力を身に付けることができるよう、学校における食に関する指導の充実を図る。	2,310	栄養士による学校への巡回指導を行う等、各種事業により、児童生徒への小児生活習慣病予防の指導等食育指導や、調理場に対する衛生管理指導を実施し、食育指導の充実と衛生管理の徹底を図った。	2,281
教育文化振興事業 （学校教育課）	教育文化祭（音楽会、科学展、展覧会等）を通して、児童生徒の豊かな創造力と表現力を育て、情操を高めるとともに、日常の学校教育活動を広く市民に発表する。	3,019	児童生徒科学体験発表会では、小学生57人、中学生38人が参加した。児童科学展覧会には175点の作品が出品された。 音楽会で中学校15校589人、小学校14校664人が参加した。 展覧会では、1288点の作品が展示された。	2,827
環境教育推進事業 （学校教育課）	「高松市子ども環境学習交流会」を開催し、児童生徒による各学校の環境学習の取り組み発表や、エコホテルの見学により、環境意識の啓発を図る。	410	76小中学校のうち39校、延べ215人が参加した。施設見学に続き、環境学習の意見交換会やリサイクル体験、子ども環境宣言の策定、高松市子ども環境委員の任命を実施した。	407
水資源教育推進事業 （学校教育課）	「香川用水の水資源巡りの旅」（中学生対象）を実施し、香川用水および水資源の重要性についての意識の高揚を図る。	10,200	平成19年4月～7月の期間で、23中学校のうち、早明浦ダムへ7校、池田ダムへ12校、計19校、延べ3,279人が参加した。そのうち、香川用水記念公園へ11校、満濃池へ2校、東部浄水場へ1校参加している。	7,838

《評価》

いじめ対策として、スクールカウンセラーの活用や、不登校対策として「不登校を考える会」の開催、適応指導教室の設置により、早期解決に向けて積極的に事業を推進した。

また、小児生活習慣病予防検診による有所見者や肥満傾向児への個別指導、学教給食推進事業として、栄養士の巡回指導を行うなどにより、食育指導の充実を図り、食習慣が改善され、有所見者の減少や、肥満の比率がおおむね全国平均を下回るなどの成果を得た。

エコホテル（南部クリーンセンター）や早明浦ダム等の見学により，環境教育，水資源教育を推進し，環境に対する意識や水資源の重要性について，啓発を図ることができた。

新設統合第二小学校（仮称）の教育推進事業では，カリキュラム研究会において学校運営プランを作成した。

《課題と今後の取り組み》

- ・事業全般がおおむね良好に実施されている。今後も継続して，いじめ・不登校問題や食に関する指導を行っていく必要がある。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・児童生徒の心身の成長支援にとってスクールカウンセラー配置や適応指導教室設置の意義は大きく，保護者および教職員との連携のもと事業を推進されたい。
- ・発達の個人差は多様であるが，きめ細かに，創意を尽くして対応していく教育活動の展開が見られ，評価できる。
- ・新設統合第二小学校のカリキュラムは，特に十分な配慮とともに，特色あるものにしていただきたい。

(4) 人権尊重の精神を高める人権教育の推進

《目標》

一人ひとりを大切にする人権教育の観点から、幼児・児童・生徒それぞれの発達段階に即し、豊かな人権感覚と人権についての確かな思考力や判断力を身に付けることができるよう、主体的な人権教育を推進する。また、教育上の較差解消に向け、子どもへの学習支援に努めるとともに、すべての教育活動の中に人権尊重の視点を取り入れる。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
「親子で人権を考える会」の開催 （人権教育課）	小・中学校の児童生徒およびその保護者等の人権意識の高揚を図るため、毎年8月の同和問題啓発強調月間にあわせて、児童生徒による作文朗読、合唱、人権劇などを内容とする「親子で人権を考える会」を開催する。	821	同和問題啓発強調月間にあわせて、平成19年8月3日に、サンポートホール高松大ホールにおいて、児童生徒による作文朗読、合奏、人権劇や人権コンサートなどを内容とする「親子で人権を考える会」を開催し、約1,000人が参加した。	717
人権教育指導資料の作成 （人権教育課）	幼稚園、小・中学校での人権教育の深化、拡充を図るため、指導資料や指導ビデオを作成する。	324	人権教育・人権教育指導資料〔視聴覚教材利用の手引き〕（市が貸出している人権教育・啓発ビデオ教材の一覧と利用の手引き）400部を作成し、幼稚園、小・中学校等に配付した。	293
社会教育指導員の配置 （人権教育課）	隣保館・児童館において、地域における子どもの学習指導・生活指導の充実と人権課題解決のための各種研修の充実を図るため、社会教育指導員を配置する。	16,972	社会教育指導員を人権教育課に2人、旧高松市の隣保・児童館4か所、合併町の児童館2か所に各1人の計8人を配置した。	16,317
子ども学級の開設 （人権教育課）	基礎学力・進学意欲の向上を図り、進学・就労の安定を図るため、隣保館・児童館において、地域の小・中学生を対象とし、補充学習等を行う子ども学級を開設する。	6,420	地域の小・中学生を対象として子ども学級を開設し、補充学習等を実施した。	4,876
教育相談事業 （人権教育課）	関係する小・中学校の教職員が、隣保館・児童館において、地域の小・中学生とその保護者を対象に、進路・進学等の相談を行う教育相談を実施する。	600	地域の小・中学生とその保護者を対象に、関係する小・中学校の教職員が進路・進学等の相談を行う教育相談を実施した。	331
教職員の資質を高める現職教育の促進 （人権教育課）	幼稚園、小・中学校の教職員が、人権尊重の視点に立った、豊かな人権感覚を身に付けられるよう、現職教育を支援する。	—	学校訪問では、人権・同和教育主任との懇談を実施し、各学校の人権教育の推進状況等を聞き、必要に応じて指導助言を行った。 要請訪問では、授業を参観するなどして改善点等の指導を行った。	—

《評価》

人権啓発活動事業として、親子で人権を考える会の開催や、人権教育指導資料を作成し、幼稚園、小・中学校

に配付することにより、人権意識の高揚や人権教育の深化、拡充を支援することができた。

社会教育指導員の配置により、地域の子どもの学習指導・生活指導の充実と、人権問題解決のための各種研修の充実が図られた。

地域の小・中学生を対象として、補充学習や進路・進学等の教育相談を実施し、基礎学力・進学意欲の向上と進学・就労の安定に努めることができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・今後とも継続的に事業を実施し、人権尊重の精神を高める人権教育を推進していく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・人権教育の推進は地球的規模の重要な課題であり、社会教育指導員の配置や子ども学級の開設など、児童生徒を直接的に支援する息の長い事業の展開に期待したい。
- ・すべての教育活動において、人権尊重を基盤とした活動が展開されることが期待される。
- ・おおむね、適切に実施されていると思う。

(5) 特別支援教育の推進

《目標》

一人ひとりのニーズに応じて、特別な配慮の下に適切な教育を行うことにより、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加に必要な力を養う教育を推進する。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
教育相談、就学指導委員会の開催 (学校教育課)	新入学児童生徒のうち、障害のある子どもや保護者を対象に就学に関する教育相談を行うとともに、適正な就学のための検討を行う。	302	就学等教育相談を5回開催し、122名の相談に応じた。 就学指導委員会を5回開催し、301名の検討を行った。	302
特別支援教育の推進 (学校教育課)	各幼稚園・学校に対し、特別支援教育を推進するための具体的な方策の情報を提供し、着実な特別支援教育を推進する。	—	特別支援教育研修会を2回開催し、各幼稚園、小・中学校の特別支援教育コーディネーターの資質向上を図った。 学校訪問、要請訪問、各種研修会等を通じ、教職員の理解・推進を図った。	—

《評価》

就学等教育相談および就学指導委員会を開催し、適正な就学を図ることができた。

特別支援教育研修会を2回開催し、幼稚園、小・中学校の特別支援教育コーディネーターの資質向上を図るとともに、学校訪問、要請訪問、各種研修会等を通じ、特別支援教育に対する教職員の理解・推進を図ることができた。

《課題と今後の取り組み》

・特別支援教育コーディネーターに対する研修内容が、園・学校全体に波及するよう、校内研修等の充実を呼びかけていく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・特別支援教育を保護者・地域との連携のもと推進するにあたり、特別支援教育コーディネーターの質的向上支援事業や児童生徒への具体的な支援事業は重要であり、今後の進展に期待したい。
- ・特別な支援を必要とする一人ひとりの子どもへの適正な支援体制を整えていくとともに、共に生活する他の子どもたち、成人のそれぞれが自分自身の生きる力への認識を深めていくという視点が重要である。この点からも特別支援教育コーディネーターに対する研修内容が、園・学校全体に広がるような活動の展開が期待される。
- ・実施した事業の内容については良好と思える。

(6) 幼・小・中の連携の推進

《目標》

学校間の接続をなめらかにし、子どもの学びや育ちが継続・発展できるよう学校間の連携や交流を推進する。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
小中一貫教育推進 事業 （学校教育課）	小中一貫教育特区の認定により、新設統合第一小・中学校（仮称）の統合予定校において新カリキュラムを実施する。	16,382	小中一貫カリキュラム開発のための研修会を13回開催した。 学校英語教材、参考資料書籍等を購入・配布した。 小学校英語科、小学校高学年の教科担任制、小中学校での複数教員による指導実施のために市費講師を7人配置した。	13,749
幼小連携 （学校教育課）	就学前教育と小学校教育の円滑な持続を図るため、幼小間の異校種交流や研修を実施する。	—	幼稚園教員研修会において、幼稚園教員が小学校での研修を行った。教育研究所と共催で幼小連携教育研修講座を行い、幼小連携の実践発表や幼小の教員による交流活動の計画立案を行った。	—

《評価》

小中一貫カリキュラム開発のための研修会を開催するほか、小学校英語科、小学校高学年の教科担任制、小中学校での複数教員による指導実施のための市費講師の配置などにより、施設が分離している状態での小中一貫教育の実践の成果が得られた。

また、幼稚園教員が、小学校での一日研修、幼小連携教育研修講座で幼・小連携の実践発表を行うなど、就学前教育と小学校教育の円滑な接続に効果が得られた。

《課題と今後の取り組み》

- ・平成21年度の高松第一中学校開校に向けて、学校運営等のための具体的な作業を進めていくとともに、今年度の成果を生かして、さらに小中学校教員の交流のあり方などを検討していく。
- ・幼小連携については、小学校教員の幼稚園の保育参観、授業参観後の意見交換などを通して、相互理解を促進していく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・児童生徒の発達を継続的に支援するために、幼・小・中の教育内容・方法の研究および教員交流を図ることの意義は大きく、さらなる発展を期待する。
- ・就学前後期および思春期は人間発達の節目であり、子どもの学びや育ちが継続発展できるよう配慮することは重要な課題である。混乱や問題の発生を防ぐというだけでなく、積極的な展望を開くという視点からの活動の充実を期待する。
- ・小中一貫教育カリキュラムについては、現場の先生方の負担増にならないようお願いしたい。

(7) 幼稚園教育の充実

《目標》

人間形成の基礎を培う重要な時期であることから、集団生活を通して、基本的な生活習慣や社会性、道徳性、思考力など豊かな人間性を育むよう努める。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
地域に開かれた幼稚園づくり推進事業（学校教育課）	幼稚園を地域に開放し、家庭への支援や、地域の子どもたちへの遊び場や機会の提供など、幼稚園が地域の幼児教育のセンター的役割を果たすことによって、地域の幼児教育の向上を図る。	151	未就園児に対する子育て支援 ・園庭・園舎開放 ・子育て相談 ・保育体験 など 地域との交流活動の推進 ・高齢者との交流・ふれあい運動会 ・もちつき・お茶会など	151
高松市立幼稚園・保育所一体化（学校教育課）	市立幼稚園と保育所の一体化を検討するため、検討会を設置し、隣接した幼稚園と保育所を中心に一体化に向けての方向性を探る。	—	庁内組織市立幼稚園・保育所一体化検討会を実施(年4回)した。	—
高松市立幼稚園のあり方検討事業（学校教育課）	懇談会を設置し、市立幼稚園の民営化を始め、幼保一体化や子育て支援等幼児教育のあり方について、幅広い観点から検討する。	312	市立幼稚園のあり方に関する懇談会を実施(年6回)した。	312
幼保連携に関する研究指定（学校教育課）	市立幼稚園と保育所がそれぞれの機能を生かし、保育ニーズに応えることができるよう、施設の共用・交流保育・合同行事・職員の合同研修等の実施により、乳幼児教育のあり方を研究する。	64	香南幼稚園・保育所、下笠居幼稚園・下笠居中央保育所の2園に研究指定を行い、連携保育や、合同保育についての研究を行った。	63
特別支援教育に関する研究指定（学校教育課）	特別支援教育の必要な幼児に対する理解を深め適切な指導および支援を行うため、就学前における特別支援教育のあり方を研究する。	31	特別支援教育指定園9園のうち木太北部幼稚園を研究指定園とし、個別指導計画や支援について研究をした。(2年指定の1年目)	31
市立幼稚園における特別支援教育の充実（学校教育課）	特別支援教育の必要な幼児に対するきめ細かな対応の推進を行うため、市立幼稚園9園を特別支援教育指定園として教員を加配するなど、就学前における特別支援教育の充実を図る。	22,248	特別支援教育指定園9園のうち8園の特別支援教育指定園で、特別な支援を要する幼児18人に対し8人の特別支援教育加配講師を配置した。	15,981
私立幼稚園就園奨励費補助（学校教育課）	私立幼稚園に就園する園児の保護者のうち、市民税所得割額が183,000円以下の世帯に対して、所得状況に応じて経済的な負担の軽減を図り、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を目的とし、保育料等の一部を私立幼稚園設置者に対し補助をする。	248,743	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて、保育料等の一部を私立幼稚園設置者に対し補助を行った。 対象人数 3,271人	245,087

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
私立幼稚園就園費補助 (学校教育課)	就園奨励費の対象とならない市民税所得割額 183,000 円を超える世帯に対して、園児 1 人当たり年額 27,600 円を補助し、保護者の経済的負担の軽減に努める。	42,008	就園奨励費の対象とならない世帯に対して、園児 1 人当たり年額 27,600 円の補助を行った。 対象人数 1,561 人	40,210
私立幼稚園等第 3 子等就園費助成 (学校教育課)	少子化対策の一環として、国立および私立幼稚園に就園している園児のうち、第 3 子以降の園児に係る保育料の一部を助成し、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減に努める。	19,543	国立および私立幼稚園に就園している園児のうち、第 3 子以降の園児に係る保育料の一部の助成を行った。 対象人数 426 人	19,543

《評価》

私立幼稚園に対する助成や補助により、保護者の経済的負担の軽減に寄与した。

市立幼稚園・保育所一体化検討会や市立幼稚園のあり方に関する懇談会を開催し、幼保一体化のあり方の検討や、就学前の幼児教育のあり方について、意見の取りまとめを行うことができた。

幼保連携については、指定した幼保での連携保育や合同保育についての研究を行い、今後の連携推進のための効果が得られた。

特別支援教育指定園では、加配講師の配置により、きめ細やかな対応を行うことができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・幼保施設の一体化については、香南幼稚園・保育所の施設整備基本構想に取り組んでいく。
- ・幼稚園就園にかかる助成については、保護者の負担軽減のため、今後とも継続していく。
- ・地域に開かれた幼稚園づくり推進事業については、子育て支援、地域の教育力の掘り起こしと活用に効果が期待できるので、参加者の拡大と事業の充実を図る必要がある。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・人間形成の基礎を育成する幼児教育の重要性に鑑みて、幼稚園の持つ地域の幼児教育のセンター的役割、特別支援教育講師の加配、幼保一体化の在り方検討についてはさらに推進されたい。
- ・母親の就業の現状を考えると、幼児期の教育は幼保を一体として捉えることが不可避である。庁内組織市立幼稚園・保育所一体化検討会における高松市独自の、先進的な対応を進められたい。
- ・実施した事業の内容については良好と思える。

(8) 魅力ある高等学校教育の推進

《目標》

生徒の多様な興味・関心、適性、進路希望等に対応し、それぞれの個性や豊かな人間性を最大限に伸ばすことができるよう高校教育の充実を図る。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
開放講座 (高松第一高等学校)	地域社会とともに歩む学校づくりに取り組むため、市民を対象に高松一高の施設・設備を開放し、高松第一高等学校の教師による講座を実施する。	40	ガラスデザインに使用するサンドブラストの講座は、5回にわたって行った。①ガラスの歴史、花器のマスクング②デザイン検討③トレース・カット④サンドブラスト⑤作品鑑賞会 参加人数12人	20
SELHi 推進事業 (高松第一高等学校)	平成14年度から3年間実施された国の「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)事業」の成果を基に、引き続き、市単独事業として推進する。	725	国際英語コース2年生を対象に、週1回総合的な学習の時間を利用して英語で授業を実施した。	280
高等学校等入学準備金貸付事業 (学校教育課)	高等学校等に入学を希望する者の保護者で入学準備金の調達が困難なものに対し、入学準備金を貸し付ける。	3,500	公立進学7人、私立進学11人の入学準備金の調達が困難な保護者に対し、入学準備金を貸し付けた。	3,350
高松市奨学金支給事業 (学校教育課)	成績優秀かつ向上心おう盛な生徒であって、家庭の経済的な理由のため進学困難な者に対して、奨学金を支給する。	17,827	成績優秀かつ向上心おう盛な生徒であって、家庭の経済的な理由のため進学困難な165人に対して、奨学金を支給した。	17,656
高等学校生徒就学等補助事業 (学校教育課)	編入前の塩江町区域の高等学校等に修学している者に対して、修学等補助金を交付し、修学意欲の向上と、保護者の経済的な負担の軽減を図る。	2,340	塩江町区域の高等学校等に修学している68人の生徒の保護者に対し、修学等補助金を交付した。	2,040
私立高等学校教育研究会補助 (学校教育課)	本市の私立高等学校の教育研究を活発化し、教育水準の向上を図るため、高松市私立高等学校教育研究会に対し補助をする。	940	高松市私立高等学校教育研究会に対し補助金を交付した。	940
県高等学校教育研究会負担金補助 (学校教育課)	高松第一高等学校の教員が、広く情報交換を行い、各分野の研究を深め、指導力の向上を図ることを目的に香川県高等学校各種教育研究会等に参加することに対し補助をする。	111	香川県高等学校各種教育研究会会費や参加費などの負担金を補助した。	111
定時制教育振興会補助 (学校教育課)	本市の定時制教育の振興と充実を図るため、高松市定時制教育振興会に対し補助をする。	90	高松市定時制教育振興会に対し補助金を交付した。	90

《評価》

高等学校等入学準備金貸付事業や高松市奨学金支給事業、高等学校生徒就学等補助事業の実施により、教育の機会均衡に効果が得られた。各教育研究会への助成により、会の目的遂行に成果が得られた。

《課題と今後の取り組み》

- SELHi 推進事業については、高松一高の国際英語コースを対象に、総合的な学習の時間を利用し、英語で授業をした実施状況を踏まえた上で、新たな大学講師への授業の依頼や、幅広い内容の授業を実施し、さらに充実を図る。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- 高等学校の教育内容・方法の充実改善とともに、経済的支援を必要とする生徒および保護者への支援策は重要であり、今後とも事業を継続充実されたい。
- 唯一の市立高等学校として高松第一高等学校の個性化を進め、県立・私立の各高校との交流を深めるとともに、地域に開かれた教育センター機能を展開してほしい。
- 高松第一高等学校の人気も高くなり、適切に実施されていると思う。

(9) 教員の資質向上と教育に関する調査研究の推進

《目標》

教員のニーズに応じた研修の導入や校内研修の活性化とともに、各段階に応じた研修を行うなど、教育実践に結びつき専門職としての識見と指導力を高める効果的な研修の実施に努める。また、様々な領域において調査研究を推進し、その研究成果を教育現場の実践に生かす。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
教職員研修事業 (学校教育課)	子どもに生涯学習の基礎を培うという観点に立ち、学校課題の解決および学校教育の充実のため、学校職員の資質・能力を向上させることを目的として研修を行う。	4,511	のべ48の研修会を187回にわたって実施した。 新規の研修として、学校栄養職員の経年研修(5年・10年)および小・中交流研修会を実施した。	3,694
研究指定校研究事業 (学校教育課)	現在、学校が直面している課題に適切に対処するため、研究指定校を決定し、これからの時代に求められる学校教育を研究する。	2,180	「子どもと親の相談員」「伝統文化実践モデル」「教育課程研究指定」(以上、国)「ステップアップスクール」「国語力向上」(以上、県)等を実施した。	2,180
研修指導事業 (教育研究所)	市内公立学校の教職員を対象とした各種研修会、研修講座、教育講演会等を企画開催するとともに、学校教育活動に関する指導・相談を実施するほか、教育相談、情報教育、学習指導の各領域を中心とした専門的な職務能力の向上を目的とした長期研修生(市立学校教職員)を受け入れ、その指導および研修指導を行う。	1,257	25の研修講座と教育講演会を開催した。 専門的な職務能力の向上を目的として、長期研修生8人を受け入れ研修を実施した。	1,237
調査研究事業 (教育研究所)	今日的な教育課題に対応する学校教育活動を支援し、本市教育の質の向上と推進のため、「学習指導」「情報教育」「生徒指導」分野において、大学教員や市内公立学校の教員を研究委員に委嘱し、課題解決に向けた調査・研究を実施する。	586	「学習指導」「情報教育」「生徒指導」分野において、大学教員や市内公立学校の教員を研究委員に委嘱し、課題解決に向けた調査・研究を実施した。	554
私立幼稚園連合会補助 (学校教育課)	本市における私立幼稚園の振興等を図るため、高松市私立幼稚園連合会に対して、私立幼稚園の教員の資質向上のための研修活動費、事務局運営費、教職員健康診断料等に係る経費の一部を補助する。	3,400	高松市私立幼稚園連合会に対して、私立幼稚園の教員の資質向上のための研修活動費、事務局運営費、教職員健康診断料等に係る経費の一部を補助した。	3,400

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
学校評議員制度 （学校教育課）	学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、一体となって、子どもの健やかな成長を図っていくため学校評議員を委嘱し、学校運営に有効に活用するとともに、より一層地域に開かれた学校づくりの推進に役立てる。	—	幼稚園 29 園中 28 園，小学校 52 校中 50 校，中学校 23 校中 23 校で学校評議員を設置した。	—
人権教育教員研修会の開催 （人権教育課）	市立幼稚園，小・中学校の教職員の人権尊重意識の向上を図るため，人権教育教員研修会を開催する。	—	平成 19 年 8 月 3，23，29 日の 3 回シリーズで各幼稚園，小・中学校から 1 人ずつ教職員が参加し，講話，グループ討議，参加体験型研修等を実施した。	—

《評価》

教職員を対象とした様々な研修を実施し、教職員の資質および指導力の向上に効果が得られた。また、本市教育の質の向上と推進のため、「学習指導」、「情報教育」および「生徒指導」の3領域における課題を明らかにし、解決を目指した実践例等を研究紀要にまとめ、各学校に配付し、学校課題解決の一助とした。

市立幼稚園，小・中学校の教職員を対象に，人権教育教員研修会を開催し，教職員の人権意識の高揚，指導力の向上が図れた。また，ほとんどの学校で学校評議員を設置し，開かれた学校づくりに資することができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・教員が，子どもと向き合う時間を確保しつつ，今後とも，情熱，力量を持ち，状況に柔軟に対応できる教員を育てる。
- ・本市の教育課題の解決を目指して，さらに調査研究を進めるとともに，授業改善や学校改善を図るため，実践的な方策が提案できるように取り組みを進める。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・教員の資質向上の課題を教員のライフコースという観点から捉え，各段階に相応しい研修内容と研修機会の在り方についての調査研究を深められることに期待したい。
- ・教育内容は教員を通して子どもに伝えられるが，教員の資質の向上は，教員の心身の健康，個人生活の充実に支えられることが大きい。学務を果たす能力の向上とともに，個人生活を充実する能力の向上というライフワークバランスを重視することが必要である。
- ・子どもと教員の接する時間が多くなるようにお願いしたい。

(10) 子どもの安全対策

《目標》

地域の中で子どもを守り育てる環境づくりを一層推進していくため、学校、地域、警察等の関係機関・団体と連携・協力の下、その実情に応じて、より実効性のある取組みを実施する。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
防犯監視システム 整備事業 （総務課）	児童等の安全確保を図るため、門の状況が確認できるよう、防犯カメラの映像をテレビモニター等に表示・記録する防犯監視システムを、順次、小学校に整備する。	7,203	防犯監視システムを、小学校7校に整備した。	6,720
スクールガードリーダー （保健体育課）	県から配置されているスクールガードリーダーによる学校・園の巡回指導を行う。	香川県 予算	県から配置されているスクールガードリーダー5名による学校・園の巡回指導が5月から翌年2月にかけて、延べ417回実施された。	香川県 予算
安全教育の推進 （学校教育課・保健体育課）	警察・地域の協力を得て、各学校において安全マップの作成や、具体的な場面を想定しての危機管理訓練等を実施するとともに、安全や事故防止、不審者に遭遇した際の具体的な対応等についての指導を通じて、子どもの危険に対する意識を高め、あらゆる場面での危険回避ができるよう指導する。	50	学校安全管理研修会を以下のとおり開催した。 2回開催（5月城内中、10月四番丁小） ・不審者進入時の対策 ・交通安全教室 ・安全マップの改善	—
職員の巡回強化 （少年育成センター）	学校、警察等の関係機関と情報共有を図りながら、少年育成センター職員の巡回および広報啓発活動の強化を図るとともに、高松市公用車に「子ども安全パトロール」のステッカーを貼付するなど、安全を守る運動を推進する。	—	市内を18ブロックに分けて、毎月計画的に巡回パトロールを実施した。また、平成19年9月からは、幼稚園に対する巡回パトロールを開始し、注意の喚起を推進し、子どもの安全確保に努めた。	—
不審者情報のメール配信 （少年育成センター）	学校、保護者、地域の関係団体等と情報の共有化および対応の迅速化を図るため、不審者情報（日時、町名、不審者の特徴等）を、その都度、電子メールで配信するとともに、配信先を拡大し、地域ぐるみで子どもを見守る体制の充実を図る。	—	学校・保護者、関係機関、団体等に164件の不審者情報メールを提供し、不審者対応への迅速化に努め、地域ぐるみで子どもを見守る体制の充実を図った。	—

《評価》

全小学校へ防犯監視システムの整備を完了するとともに、学校・保護者・警察・地域の関係団体等との連携・協力のもと、スクールガードリーダーによる巡回指導、「子ども安全パトロール」ステッカーの公用車への貼付、不審者情報メールの提供など、安全対策に取り組み、子どもたちの安全の確保に努めることができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・今後とも安全体制の確立のため、継続実施していく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・学校を地域社会の拠点として捉えることで学校と地域の連携が深められ、子どもたちを育てる各種取り組みの実効性がさらに高まるものと期待する。
- ・いつでも、どこでも、誰でも子どもを見守る地域力の形成とともに、子ども自身の中に、自己の安全を守る力、子ども同士が協力する能力を育成するプログラムの充実が望まれる。
- ・電子メールを活用した不審者情報の配信は、高松市PTA連絡協議会のPTAメール連絡網との連携が不可欠であり、支援の強化が必要である。

(11) 学校教育環境の整備

《目標》

児童生徒の学習や生活の場としてふさわしい環境の創出をめざすため、高松市小中学校適正配置等審議会からの答申を踏まえ、新設統合校建設、学校給食センター建設に取り組むとともに、校舎増築、耐震補強を始め、校舎・屋内運動場・プール等の施設整備を行い、学校教育環境の充実に努める。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
新設統合第一小・中学校建設事業 （新設統合校整備室）	松島・築地・新塩屋町小学校と光洋・城内中学校の統合校（新設統合第一小・中学校（仮称））については、松島小学校と光洋中学校の敷地を一体的に活用し、施設一体型の小中一貫教育校として、平成21年4月開校をめざし、校舎棟の建設を行う。（普通教室39室、特別支援教室8室、特別教室21室等）	2,989,659	平成19年4月に建設工事に係る入札が中止となったことから事業計画を見直し、統合中学校は平成21年4月、統合小学校は22年4月の開校を目指すこととした。 なお、建設工事は、平成20年3月末に着手した。	5,987 〔繰越明許 2,983,672〕
新設統合第二小学校建設事業 （新設統合校整備室）	日新・二番丁・四番丁小学校の統合校（新設統合第二小学校（仮称））は、学校・保護者・地域と協議連携しながら、平成22年4月の開校に向けて、実施設計を行う。	97,447	実施設計を完了した。	83,272
学校給食センター建設事業 （保健体育課・新設統合校整備室）	学校給食センター（仮称）は、食育や衛生管理について研修する機能を持つ、中心部小中学校の児童生徒等（7,000食）を対象にした施設として、平成20年4月の供用開始をめざし、建設を行う。	1,641,590	平成19年7月に建設工事に着手したが、建設資材の調達に不測の日数を要し、年度内の事業の完了が不可能となったことから、計画を見直し、完成予定を、平成20年6月下旬とした。	314,564 〔繰越明許 1,305,608〕
小・中学校校舎増築事業 （総務課）	普通教室の不足している学校について、児童生徒のより良い環境創出のため、不足する教室の増築を行う。	173,800	十河小学校の校舎（普通教室8教室）の増築工事を実施。 平成20年度に増築予定の木太北部小学校の構造設計、設備設計等を実施した。	66,167 〔繰越明許 107,220〕
教室用扇風機設置事業 （総務課）	小・中学校の普通教室・特別教室に扇風機を設置し、夏季高温時の教育環境の改善を図る。	6,048	小・中学校の普通教室・特別教室に扇風機429台を設置した。	5,022
学校施設耐震化事業 （総務課）	昭和56年以前に建設された旧耐震基準の建物について、耐震性能の確保を図り、児童生徒の安全を確保する。	①18年度から 繰越 351,593 ②19年度 475,442	小・中学校8校の校舎、7校の屋内運動場の耐震補強工事と、22校の校舎、14校の屋内運動場の耐震補強設計等を実施した。また、幼稚園10園の耐震診断を実施した。	①18年度から 繰越 240,997 ②19年度 365,957 〔繰越明許 77,002〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
学校施設耐震化事業 （高松第一高等学校）	昭和56年以前に建設された旧耐震基準の建物について、耐震性能の確保を図り、児童生徒の安全を確保する。	7,100	第2体育館、中館、連結館の耐震化実施設計を行った。	5,417

《評価》

新設統合第一小・中学校（高松第一学園）については、建設工事に着手、新設統合第二小学校（仮称）は実施設計を完了、学校給食センターの工事進捗率は年度末において80%であった。また、小・中学校の普通教室・特別教室に扇風機を設置し、夏季の教育環境の改善が図れた。

学校施設の耐震化については、高松市立小・中学校施設耐震化実施計画に基づき、おおむね計画どおりに実施されており、補強工事の完了した建物については、耐震化が図られた。

《課題と今後の取り組み》

- ・新設統合第一小・中学校（高松第一学園）については、中学校は平成21年4月、小学校は22年4月の開校を目指していく。
- ・新設統合第二小学校（仮称）は平成22年4月の開校を目指していく。
- ・学校給食センターの運用を開始し、食育などに取り組む必要がある。
- ・学校施設の耐震化については、高松市立小・中学校耐震化実施計画に基づき、順次耐震化を図る。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・学校施設の耐震化事業、教室・体育館・運動場等の充実など、学校教育活動の円滑な実施のための基盤整備には今後とも期待したい。
- ・学校給食センターは、子どもの健全育成という視点から、充実した食の提供という真の目標を達成することを中心に運用されることを期待する。
- ・各教室に配置した扇風機は天井や壁に据え付けでないため、安全面での検討が必要である。
- ・学校施設の耐震化については、設備についても耐震を考慮したものが必要である。

2 豊かな市民性と社会連帯感を育てる生涯学習の推進

(1) 生涯学習の推進

《目標》

進展する社会の中で、豊かな人間性や社会的能力を高め、生きがいを持って学習できる機会の充実に努めるため、生涯学習センターや図書館などを拠点施設として、様々な学習の機会や場を提供するとともに、知識・情報を収集整理して利用に供することで、生涯学習の推進を図る。

【実施事業一覧】

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
高齢者教室等の開設 (生涯学習課)	進展する社会の中で、生きがいを持って学習しながら、豊かな人間性や社会的能力を高めるため、高齢者教室や女性教室等の講座を開催する。 ・高齢者教室 52 教室 ・女性教室 64 教室	4,733	地区公民館やコミュニティセンターにおいて開設した。 ・高齢者教室 51 教室 ・女性教室 60 教室	4,328
家庭教育学級等の開設 (生涯学習課)	子育てに関する諸問題や家族の意義・役割等を学習し、家庭教育力を高め、子どもの健全育成を図るため、家庭教育セミナーや家庭教育学級、子育て講座を開催する。 ・家庭教育学級 91 学級 ・家庭教育セミナー	3,099	小学校、幼稚園、生涯学習センター等において開設した。 ・家庭教育学級 88 学級 ・家庭教育セミナー3 コース(各7回) ・子育て講座 50 講座	2,778
学びの機会や場の充実事業 (生涯学習センター)	市民の幅広い学習ニーズに応えるため、大学等と連携した専門講座など様々な講座を開催し、市民のリカレント(循環)教育の推進に努めるとともに、市民と行政との協働によるまちづくりをめざし、公募型の自主企画講座「センター遊友塾」等を開催するなど、市民が生涯学習の分野で積極的に参加できる環境の整備に努める。	3,844	次のような講座等を開催した。 ・生涯学習カレッジ講座 一般教養講座 89 回 専門講座 20 回 ・生涯学習推進事業 市民の学習成果発表の場提供事業、趣味・教養講座等 263 回 ・市民参画促進事業 センター遊友塾 23 回 生涯学習スタッフ養成講座 8 回 指導者のためのセミナー3 回	2,607
読書活動等推進事業 (中央図書館)	ボランティアによるおはなし会など各種児童向け行事の開催、また、市主催の各種講座の開催や児童サービスの充実により、子どもが図書館を利用しやすい環境づくりに努める。	449	ボランティア等により、中央図書館において、延べ 89 回(8 種)のおはなし会を開催したほか、松島・牟礼・香川・国分寺図書館など地域館 4 館においても、延べ 84 回のおはなし会を開催した。また、子ども向け行事の「おたのしみ会」を、中央図書館で 2 回、各地域館でそれぞれ 1 回開催した。手づくりおもちゃ講座や体験学習講座などを開催した。	267

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
香川図書館の開館 (中央図書館)	市南部地域における図書館サービスの拠点施設として香川図書館を開館するとともに、「時計台のある図書館」として、地域住民が本に親しみ、生涯学習の場として活用される図書館づくりに努める。	—	平成19年4月28日に、香川図書館を開館し、図書館サービスを開始した。また、開館を記念して、コンサートや記念講演会等を開催した。 ・平成19年度末所蔵資料数 97,074冊・点 ・平成19年度末貸出実績 317,416冊・点	—
図書館サービス事業 (中央図書館)	中央図書館を核に、松島・牟礼・国分寺および香川図書館の各地域館間に連絡車を毎日運行するなどネットワーク化を図り、いずれの図書館でも資料の貸出・返却・予約処理などができるよう、図書館サービスに一層努める。	—	各図書館間において、返却本・予約本を配送する連絡車を毎日定時に運行した。	—
図書館資料の充実 (中央図書館)	図書館の資料収集に当たっては、資料の選定、収集を工夫し、多様化する市民の生涯学習意欲に応えられるよう努める。	92,241	多様化する市民の生涯学習意欲に応えられるよう、資料の選定、収集を工夫し、資料の整備・充実に努めた。 資料購入実績 62,991冊・点	92,241
移動図書館車の巡回事業 (中央図書館)	図書館から遠隔地にあり、図書館を利用し難い市民の方を対象に、移動図書館車3台により、市内91か所のステーションを月1回巡回し、図書館サービスを提供する。	—	各地区コミュニティーセンターや市内の幼稚園・小学校など、91箇所のステーションに月1回巡回し、図書館サービスを提供した。 ・平成19年度貸出実績 145,930冊・点	—
図書館分室の充実 (中央図書館)	地域コミュニティーセンター等に設置している図書館分室のPRに努めるとともに、地域の意見も聴きながら、図書の配本を始め、児童書の充実や子どもたちも利用しやすい環境整備など、分室の充実に努める。	—	図書館分室のPRに努めるとともに、47分室のうち、21分室に図書の更新のための配本や、47分室に児童書の寄贈本の配本など、分室の充実に努めた。 ・平成19年度貸出実績 30,783冊・点	—

《評価》

高齢者教室や家庭教育学級を開設し、高齢者の社会的能力と家庭の教育力の向上に努めた。

生涯学習センターにおいては、生涯学習カレッジ講座やセンター遊友塾等の市民参画促進事業を実施し、リカレント（循環）教育の推進に努めるとともに、市民が生涯学習の分野で積極的に参加できる環境の向上を図った。

図書館においては、読書活動等推進事業として、ボランティアによるおはなし会など児童向け行事の開催や、手づくりおもちゃ講座や体験学習講座などの開催により、子どもたちが図書館を利用しやすい環境づくりにつながった。

また、平成19年4月に市南部地域における図書館サービスの拠点施設として香川図書館を開館した。

《課題と今後の取り組み》

- ・生涯学習センターでは、より一層の学びの機会や場の充実に向け、今後もリカレント（循環）教育の推進や、市民が生涯学習の分野で積極的に参加できる環境の整備に努めていく。

- ・図書館では、今後とも、子どもたちにとって利用しやすい環境づくりや、子どもの読者活動の推進に努め、生涯学習の場としての図書館運営に努めていく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・生涯学習の拠点として、公民館、生涯学習センター、図書館等の既施設整備とともに、生涯学習を支援する専門的能力を備えた人材を、幅広く活用する方策を検討実施されたい。
- ・香川図書館の開設は朗報である。
- ・実施した事業の内容については良好と思える。

(2) 生涯学習関連施設の整備と機能の充実

《目標》

生涯学習センターや公民館などの生涯学習関連施設を整備するとともに、インターネットなどの新しい情報メディアを活用し、学習情報の収集・提供機能の充実を図り、市民の多様な学習活動の効果的な支援に努める。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
公民館耐震診断事業 (生涯学習課)	公民館の耐震化を図るため、旧耐震基準で建築された施設の耐震診断を実施する。 ・牟礼公民館 ・川東公民館 ・浅野公民館	3,800	公民館 2 館の耐震診断を実施した。 ・牟礼公民館 評価 a ・川東公民館 評価 b (浅野公民館については、新耐震基準による建築だったため耐震診断は実施しなかった。)	3,744
公共施設利用総合情報システム管理事業 (生涯学習センター)	市民の学習活動を支援するため、施設予約管理機能を有する「かがわ電子自治体システム施設予約申込サービス」の効果的な管理運営に努める。	10,073	これまでの施設予約管理システムを見直し、「かがわ電子自治体システム」を利用した公共施設利用総合情報システムへ移行させた。	9,068
図書館情報システム更新事業 (中央図書館)	現行システムの劣化や合併等に伴う処理量増大への対応とともに、インターネット予約・レファレンスデータシステムの構築等、今後の図書館サービスに適応した新たな情報システムを構築する。	32,000	図書館の電子化に対応するため、ホームページの見直しやインターネット蔵書予約・レファレンスデータシステムの構築等、今後の図書館サービスに適応した新たな図書館情報システムを平成 20 年 2 月から稼動した。	30,332

《評価》

生涯学習センターにおいては、新たな公共施設利用総合情報システムへ移行することにより、効果的な管理運営に努めることができた。

また、図書館においては、図書館の電子化に対応するため、新たな図書館情報システムを、平成 20 年 2 月から稼動し、図書館サービスの向上につながった。

《課題と今後の取り組み》

- ・生涯学習センターおよび図書館は、ともに新たな情報システムを導入したが、今後は、さらにその利便性の周知に努め、サービスの向上を目指していく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・生涯学習関連施設の整備とともに、利用者にとって学習しやすいシステムの在り方を開発研究することを期待する。
- ・新しいシステムを導入し、効率化やサービスの向上につないでいく過程では、スタッフのスキル養成とともに窓口対応の人間性が問われることが往々にしてあり、その点への配慮が望まれる。
- ・実施した事業の内容については良好と思える。

(3) 青少年健全育成の推進

《目標》

生涯子どもたちの健やかな心身の成長を促し、生きる力をはぐくむため、様々な体験活動や学習機会の充実を図るとともに、青少年健全育成の体制の充実と社会環境の整備を推進する。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
留守家庭児童会の運営 (生涯学習課)	留守家庭で保護監督に著しく欠ける児童の健全育成を図るため、放課後等の生活指導等を行う、留守家庭児童会を小学校に開設する。 ・開設校区 34 校区 ・定員の拡大 (40 人→80 人) 15 校区 (新規 6 校区)	252,865	留守家庭で保護監督に著しく欠ける児童の健全育成を図るため、放課後等の生活指導等を行う、留守家庭児童会を小学校に開設した。 ・開設校区数 34 校区 ・定員の拡大 14 校区 (新規 5 校区)	227,770
成人式 (生涯学習課)	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、式典を実施する。	5,266	平成 20 年 1 月 14 日にサンポートホール高松で成人式を開催した。 出席者 2,511 人	4,889
知的障害者青年教室の開設 (生涯学習課)	知的障害のある青年が、余暇時間を充実させるとともに、集団活動を通して人とふれあう喜びや社会人として、知識・技能を習得する知的障害者青年教室を開設する。	294	知的障害者青年教室を年 8 回開設した。 参加者 延べ 237 人	235
子どもわくわく体験支援事業 (生涯学習課)	青少年の創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間に育てるため、市民団体等による街並みや自然を活用した子ども向けの体験型学習活動を支援する。	200	子どもわくわく体験支援事業を 4 団体が実施した。 ・図書館を遊ぼう 参加者 16 人 ・里山まるごとキャンプ 参加者 28 人 ・いこいの森で遊ぼう！！ 参加者 69 人 ・三郎池周辺史跡めぐりとミニ駅伝 参加者 360 人	160
子ども向けホームページの開設 (生涯学習課)	高松市ホームページ(もっと高松)に子ども向けサイト「きっずの森」を設け、行事等の情報提供に努める。	—	「きっずの森」で子ども向け行事等の最新の情報提供を行った。	—
「早寝早起き朝ごはん」運動の普及啓発事業 (生涯学習課)	子どもたちの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させるとともに、地域全体で家庭の教育力を支える社会的機運の醸成を図る「早寝早起き朝ごはん」運動の普及啓発に努める。	—	「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発のため、啓発活動を実施した。 ・給食こんだて表に運動のシンボルマークを掲載 ・市ホームページで運動を紹介	—

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
非行防止活動事業 （少年育成センター）	少年非行の早期発見・早期指導を図るため、補導、相談、環境浄化、広報啓発等の活動を行うとともに、高松市青少年健全育成市民会議と連携し、「地域で子どもを見守り育てる運動」を推進する。	27,444	補導活動については、補導回数1,909回、補導件数は108%増の2,425件となった。また少年育成センターに寄せられた不審者等の通報件数は326件、同センターへの相談は140件であった。 高松市青少年健全育成市民会議および高松市少年育成委員連絡協議会と連携して、健全育成作品の募集と展示を行うとともに、勝賀中学校で実施された第12回青少年健全育成フォーラムや、市民のつどい、市中パレードを共催実施した。	25,911
子ども読書まつり 事業 （中央図書館）	読書週間に合わせて「子ども読書まつり」を開催し、多彩な児童行事や講演会で、子どもには読書への動機付けを、また、保護者には子ども読書活動への認識を高めてもらい、子ども読書活動の推進を図る。	561	平成19年10月28日に、サンポート高松を会場に「第3回子ども読書まつり」を開催した。 【行事内容】 絵本作家による講演会、おはなし会、手づくりおもちゃ、読書感想画の展示など 参加者 約2,000人	450
ブックスタート事業 （中央図書館）	保健センターと連携して、妊娠中に絵本の読み聞かせの効用について説明するとともに、4か月児に絵本を贈呈し、子育て支援と子どもの読書活動を進める。	3,800	保健センターと連携しながら、4か月児相談時に、ブックスタートボランティアの協力を得て、絵本2冊を保護者に贈呈し、その利用方法と子どもへの読み聞かせの効果について説明を行った。 贈呈人数 3,777人 実施率 93.6%	3,798

《評価》

留守家庭児童会の開設により、放課後、保護者等が就労等で留守家庭となる児童の健全な育成が図られた。

「子どもわくわく体験支援事業」の実施により、子どもの体験型学習活動を充実する効果が得られた。

「早寝早起き朝ごはん」運動について、給食こんだて表への運動のシンボルマークの掲載や市ホームページで運動を紹介し、市民や児童・保護者等へ広く普及・啓発することができた。

「第3回子ども読書まつり」を開催し、多数の市民の参加を得て、子どもの読書に関する意識が高まり、読書活動の推進につながった。

《課題と今後の取り組み》

- ・留守家庭児童会の待機児童の解消を図るとともに、青少年健全育成の体制整備をめざし、今後とも、学校や警察等の各関係機関と連携し、情報交換等をもとに、効果的な補導活動の実施に努める。

さらに健全育成フォーラムや市民のつどい等を通して、高松市青少年健全育成市民会議および高松市少年育成委員連絡協議会との連携を強化し、健全育成活動の推進を図る。

- ・子どもホームページ「きっずの森」での情報提供や、子ども読書まつりの開催を今後とも継続し、生きる力を

はぐくむための学習機会の充実を図る。

- ・ブックスタート事業については、4か月児相談に保健センター等へ来所しない保護者への対応や、ブックスタート実施後のフォローが今後の課題となっている。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・異世代間，多世代間の交流を，様々な機会を通して拡充することで，地域で青少年を見守り，成長を支援することに繋がることを期待する。
- ・ブックスタート事業は，まさに健全育成のスタートとなるものと位置づけられる。生涯学習関連施設・人材とネットワークを組み，さらに展開されることを期待する。
- ・留守家庭児童会の環境整備は，より充実したものにしてほしい。

(4) 社会教育関係団体の育成と指導者の養成

《目標》

社会教育関係団体の自立化を支援し、自主的な団体活動を促進するとともに、社会教育指導者を養成するなど、人材開発に努める。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
子どもの居場所づくり指導者養成事業 (生涯学習課)	地域で子どもの居場所づくりに取り組む指導者を養成するため、必要な知識等を習得できる研修会を開催する。	249	子どもの居場所づくり指導者養成事業を年間5回実施した。 12地区18人参加	121
子ども会等支援事業 (生涯学習課)	地域ぐるみ、市民ぐるみの子どもの健全育成を促進するため、子ども会やPTA等の団体を支援するとともに、指導者講習会やリーダー研修会等を開催する。	10,392	子ども会やPTA等の団体を支援した。また、子ども会と連携して、以下の事業等を実施した。 ・新春子どもフェスティバル ・子ども会フットベースボール大会 ・子ども会指導者講習会等各種研修会	9,919

《評価》

子どもの居場所づくり指導者養成事業の実施により、地域の子どもの居場所づくりの指導者を養成するとともに、地域間で情報交換等の交流を図ることができた。

また「新春子どもフェスティバル」や「子ども会フットベースボール大会」、「子ども会指導者講習会等各種研修会」の実施により、子ども会等の団体の健全な運営や指導者の育成を促進することができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・従来、のびのび子ども教室等指導者養成の一環であった、子どもの居場所づくり指導者養成事業の内容を、放課後子ども教室事業に重点的に対応するよう見直すなど、事業内容の充実を図っていく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・放課後子ども教室事業の拡充は、児童および保護者の切実なニーズに合致するものであり、今後とも積極的な取り組みを期待したい。
- ・家族の規模が小さくなり、近隣の大人とのかかわりが少なくなっている現状では、子どもの居場所づくり指導者養成事業は、青少年の健全育成に重要な役割を担う。地域の人材の発掘、力の集結のためのプログラム展開が期待される。
- ・子ども会の入会率が落ちてきているので、ニーズに合うような事業内容への支援が必要であると思われる。

(5) 人権問題の認識を深める社会人権教育の推進

《目標》

同和問題を始め、女性、子ども、高齢者、障害者等様々な人権課題に対する認識を深め、差別解消へ向け取り組むとともに、関係機関および人権・同和教育推進組織等との連携を密にしながら、各種研修会、講演会を開催するなど、あらゆる機会を通して人権教育・啓発の充実を図る。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
人権教育市民講座の開催 (人権教育課)	公民館およびコミュニティセンターにおいて、地域住民を対象に、啓発資料による講話や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	260	公民館およびコミュニティセンターにおいて、地域住民を対象に、啓発資料による講話や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催し、延べ57館で地域住民延べ2,419人が受講した。	125
人権教育研修事業 (人権教育課)	市立幼稚園、小・中学校の単位PTA会員を対象に人権教育研修会を実施する。	950	市立幼稚園、小・中学校の単位PTA会員を対象に人権教育研修会を実施し、105校(園)で延べ13,833人の参加があった。	588
人権教育推進協議会への助成 (人権教育課)	「平和と人権を守る市民のつどい」・「人権啓発作品展」・「人権教育研修会」の開催や「人推協だより」の発行などにより、人権教育の正しい理解と実践の研究・推進を図ることを目的とする高松市人権教育推進協議会に対し助成する。	3,100	「平和と人権を守る市民のつどい」・「人権啓発作品展」・「人権教育研修会」・「親子で人権を考える会」の開催や「人推協だより」の発行などにより、人権教育の正しい理解と実践の研究・推進を図ることを目的とする高松市人権教育推進協議会に対し助成した。	3,100
人権教育資料の作成と視聴覚教材の購入 (人権教育課)	人権教育・啓発の充実のため、啓発資料として「市民のための同和问题読本」、人権学習の手引き「人権文化の創造」の作成や人権啓発用ビデオテープを購入するとともに、その活用を図る。	968	人権教育・啓発の充実のため、啓発資料として「市民のための同和问题読本」、人権学習の手引き「人権文化の創造」をそれぞれ5,500部作成し、配付するとともに人権啓発用ビデオテープを新たに8本購入し、その貸出を行った。	968

《評価》

人権教育市民講座を開催し、人権問題の認識を深めることができた。また、市立幼稚園、小・中学校のPTA会員を対象に人権教育研修会を実施し、保護者への啓発や家庭での人権教育を深めることができた。

人権啓発資料としての「市民のための同和问题読本」、人権学習の手引き「人権文化の創造」を作成し配付するとともに、人権啓発用ビデオテープを購入し、その貸出を行い、人権教育・啓発の充実を図ることができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・人権教育市民講座については、人権教育課の講師を派遣するなど、開催方法等の改善に努める。
- ・人権啓発資料の内容については、さらにわかりやすく、多くの市民に提供できるものを作成していくよう努める。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・ 社会人各層を対象とする人権教育・人権学習には持続性が求められるので、息の長い地道な事業として継続実施されることを望みたい。
- ・ 人権は、すべての人の権利であることを根付かせるために、それぞれの人の切実なテーマを切り口として、さらに多様な人権教育を展開されることを期待する。
- ・ 実施した事業の内容については、おおむね良好と思える。

3 暮らしにゆとりとうるおいをもたらす文化芸術の振興

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2第1項の規定に基づき、スポーツおよび文化に関する事務を市長が管理し、および執行することとするため、本市では、高松市スポーツおよび文化に関する事務の管理および執行の権限の特例に関する条例を制定し、スポーツに関すること（学校における体育に関することを除く）と、文化に関すること（文化財の保護に関することを除く）に関する事務は、平成20年4月1日から市長が管理・執行することとしました。

このため、「3 暮らしにゆとりとうるおいをもたらす文化芸術の振興」については、現在も教育委員会が所管している事業だけを対象として、点検・評価を行っております。

なお、同様にスポーツ・レクリエーションの振興に係る事業の点検・評価は行っておりません。

(1) 文化振興施策および文化芸術活動の推進

《目標》

郷土の歴史、文化、伝統に対する関心や理解を深め、文化芸術の裾野を広げる多様な文化事業を展開することにより、地域の芸術環境や人材を育成するとともに市民の自主的な文化芸術活動を促進する。また、サンポートホール高松、美術館、庵治文化館などを文化芸術活動の拠点として、新しい高松文化の創造と交流を図る。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
歴史資料館ほか展示事業 （文化財課）	4館で一つの館であるという理念のもと、各館において、常設展示を行うとともに地域性を生かした特別展を実施し、市民のニーズにこたえる。さらには、展示等を通じて新高松市の一体感を醸成することに努める。	12,031	常設展示の充実（4館）を図るとともに特別展等を開催した。 ・特別展の開催 14展 ・企画展の開催 23展 ・その他展示 8展	12,031
歴史資料館ほか教育普及各種事業 （文化財課）	各館で特色ある講座などの教育普及事業を企画・実施する。そのことにより、参加者の選択の幅を広げるとともに、充実した学習・学究の場を提供する。	3,970	各種教育普及事業を実施した。 ・各種講座、体験学習の開催 ・史跡まつり ・出前資料館の実施など	3,517
サンクリスタル学習実施事業 （文化財課）	市内小学校の高学年を対象に、歴史資料館、中央図書館、菊池寛記念館の3館・サンクリスタル高松の機能を活用した体験学習を実施する。	4,678	サンクリスタル学習を実施した。 ・参加校 32校 ・参加者 2,458人	3,132
歴史資料館サポート事業 （文化財課）	歴史資料館の事業をサポートしていただけるボランティアを団塊の世代も含めて広く募集し、館の運営・事業に参画していただく。	100	・講演会「パートナーシップのまちづくり」の開催した。参加者55人 ・情報誌「まいまいこ」を3,000部発行した。	70

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
文学展の開催 （文化財課）	文学への理解と関心を深め、市民文化の向上に寄与するため、菊池寛記念館第16回文学展として、「与謝野寛・晶子」展を開催するとともに、関連行事として第13回「与謝野晶子短歌文学賞」（産経新聞社主催）を共催する。	5,300	第16回文学展「与謝野寛・晶子」展および第13回「与謝野晶子短歌文学賞」を開催した。 文学展入場者数 2,291人	5,006
香川菊池寛賞事業 （文化財課）	文壇の大御所「菊池寛」を顕彰する事業として、また、郷土文化・文学の向上を図るため、文学作品を募集し、優秀な作品に香川菊池寛賞を贈呈する。	950	第43回香川菊池寛賞事業を実施（募集・選奨）した。 応募作品数 49篇（小説42, 随筆5, 戯曲・脚本2）	950
菊池寛顕彰会補助事業 （文化財課）	市内の小・中学生を対象とした菊池寛ジュニア賞の募集・選奨を始め、郷土文芸の振興や文化の向上に寄与するよう各種事業を実施している菊池寛顕彰会に補助する。	300	菊池寛顕彰会に対し、補助金を交付した。	300
菊池寛記念館資料整備事業 （文化財課）	菊池寛を始め、芥川賞・直木賞受賞作家や郷土ゆかりの作家の原稿、書籍等を購入する。	2,900	菊池寛原稿「人生競馬」を始めとする文学的にも貴重な資料や書籍等を購入した。	2,888

《評価》

各資料館において常設展示および特別展の開催や、各館での、特色ある講座などの教育普及事業を企画・実施することにより、郷土の歴史に対する関心を広め、理解を深めることができた。

郷土の文豪である菊池寛を顕彰する各種事業を実施することにより、文学への理解と関心を深め、郷土文化・文学の向上を図ることができた。

小学校の高学年を対象に、サンクリスタル高松での体験学習の実施により、郷土の歴史や文化を学び、また図書館学習を体験する機会を提供できた。

《課題と今後の取り組み》

- ・歴史資料館をより身近に体験できるよう、参加・体験型講座の充実を図るとともに、展示事業については、市民ニーズに沿った内容の開催を推進する。
- ・歴史資料館等では、市民の歴史学習の向上のため、参加・体験型講座の充実を図るほか、菊池寛記念館では、今後とも、市民にとって魅力のある文学展の開催や、質の高い資料の購入に努める。
- ・サンクリスタル学習のさらなる活用や参加増を図るため、学校との連携を推進していく。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・地域の文化・芸術の振興は潤いのある社会生活にとって不可欠であり、文化芸術の普及啓発事業と参加型事業をバランスよく企画・実施されたい。
- ・自分が住んでいる町の歴史などを学ぶことは、自分の個性の発見につながる重要な学習の1つであり、地域で育つ子どもたちに等しく学ぶ機会が提供されることが望ましい。サンクリスタル学習の参加校の増加など、さらなる活性化を期待する。
- ・各々の事業の実施内容は良いと思われるので、各事業間の連携を行っていけばさらに良いと思われる。

(2) 文化財の保存と活用

《目標》

埋蔵文化財の記録保存や遺跡復元資料収集のための発掘調査を行う。また、文化財の管理や民俗文化財の伝承活動等を支援するほか、除草や説明板設置による史跡見学環境の整備に努める。また、文化財に触れる機会を提供し、郷土の歴史民俗についての関心と理解を深め、文化財愛護意識をはぐくむ。

〔実施事業一覧〕

事業名	事業内容（計画）	予算額 (千円)	実施した事業の内容	決算額 (千円)
屋嶋城跡整備事業 (文化財課)	古代山城「屋嶋城」の城門遺構等の石垣測量を実施し、復元整備に向けたデータ収集を行う。	7,500	石垣前面において発掘調査を実施するとともに、城門周辺平面図および石垣立面・平面図の作成を委託した。	7,435
埋蔵文化財調査事業 (文化財課)	かつての高松城域や讃岐国分寺跡を始めとする市内全域の埋蔵文化財包蔵地における土木建築工事に先立ち、記録保存や遺跡保護のための発掘調査を行う。	3,642	市内で計画された土木建築工事に先立ち試掘調査を実施するとともに、横岡山古墳や史跡讃岐国分寺跡において内容確認の調査を実施した。	2,257
石清尾山古墳群保存管理事業 (文化財課)	石清尾山古墳群の国指定 12 古墳の雑木伐採、除草、見学路整備や注意看板、柵の設置を行い、積石保護など適正な管理と見学環境の整備に努める。	438	雑木伐採を行い、見学環境の整備を図った。	190
屋島基礎調査事業 (文化財課)	屋島の遺跡、特に古代山城「屋嶋城」の性格・構造・城域等の解明や将来の復元整備に向けた資料収集のための調査を実施する。	1,799	屋島北嶺において、分布調査を実施した。	1,384
文化財管理、修理、伝承・公開活動助成事業 (文化財課)	市内に所在する史跡や民俗文化財等の所有者や管理団体等に対して助成し、その保存と伝承・公開活動を支援する。	7,448	市内に所在する史跡や民俗文化財等の所有者や管理団体等に対して助成した。	7,448
文化財説明パンフレット等作成事業 (文化財課)	発掘調査の成果などを市民にわかりやすく周知するためのパンフレット「むかしの高松」や、石清尾山古墳群・特別史跡讃岐国分寺跡など史跡の案内解説パンフレットを作成、配布し、見学の促進と見学者の利便性向上を図る。	241	「むかしの高松第 21 号」、「史跡石清尾山古墳群」、「特別史跡讃岐国分寺跡」の 3 種のパンフレットを作成配布した。	241
文化財説明板設置改修事業 (文化財課)	史跡等文化財を見学者にわかりやすく説明するための看板の設置や改修を行う。	477	説明板新設を 1 か所、説明板更新を 2 か所行った。	477

事業名	事業内容（計画）	予算額 （千円）	実施した事業の内容	決算額 （千円）
文化財学習会等開催事業 （文化財課）	「ふるさと探訪」、「親子文化財教室」、「知ってもらおう高松講座」等の文化財学習会や遺跡の現地説明会を開催し、子どもから高齢者まで幅広く市民に、市内および近郊各地域の史跡や民俗・風習などに触れる機会を提供する。	255	「ふるさと探訪」を10回、「親子文化財教室」を2回、「知ってもらおう高松講座」を2回開催した。	236
高松城跡天守台石垣整備に伴う発掘調査事業 （文化財課）	天守台石垣の解体修理を都市開発部公園緑地課が進めているのに併せ、石材や石積工法を記録するとともに、埋蔵物の発見収集に努める。また、天守台穴蔵調査の成果をとりまとめ、報告書を刊行する。	(26,868) ※予算の所管は公園緑地課	石垣解体工事に伴う立会調査を実施するとともに、出土遺物の整理を実施した。	(25,003) ※予算の所管は公園緑地課
国分寺史跡公園管理事業 （文化財課）	特別史跡讃岐国分寺跡内に整備している国分寺史跡公園の良好な見学環境を保つための管理業務を行う。	3,050	国分寺史跡公園の樹木剪定および除草を行った。	2,328
史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業 （文化財課）	特別史跡讃岐国分寺跡および史跡讃岐国分尼寺跡の遺構確認と保存・整備のため、史跡地の公有地化を進め、整備に努める。	26,585	史跡讃岐国分尼寺跡の遺構確認と保存・整備のため、史跡地の公有地化を行った。	23,543

《評価》

屋嶋城跡、石清尾山古墳群、高松城跡天守台石垣、史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡など、埋蔵文化財の記録保存や遺跡・史跡の復元整備のため、各種事業を実施して、文化財の保存や継承に努めた。

パンフレット「むかしの高松」や、石清尾山古墳群・特別史跡讃岐国分寺跡など史跡の案内解説パンフレットを作成、配布し、見学の促進と見学者の利便性向上を図るとともに、「ふるさと探訪」等の文化財学習会や遺跡の現地説明会等により、郷土の歴史民俗についての関心と理解を深めることができた。

《課題と今後の取り組み》

- ・調査事業で得られた結果をもとに、今後とも事業を継続し、文化財の保存と活用に努めたい。
- ・文化財学習会のひとつである「知ってもらおう高松講座」については、本市への転入者対象の講座であるが、生涯学習施設や、カルチャーセンターで同種講座が実施されていることも踏まえ、廃止する。

《学識経験者からいただいた主な御意見》

- ・貴重な文化財の保存とともに、地域の産業・生活・文化を育んできた自然的・歴史的資産を保全し、学習や研究の支援を通して地域づくりの起点となるような取り組みに期待したい。
- ・文化財の保存管理事業に必要な作業の中で、可能なものについては市民参加を推進してほしい。
- ・文化財の保存と活用については、市民への発信だけでなく、他県民へのアピールも行ってほしい。

教育施設等の概況

(平成 20 年 5 月 1 日現在)

1 学校等

(1) 市立幼稚園

区分 学校名	所在地	面積 (㎡)		学級数	園児数	3 歳児入園数 (再掲)	園長			教諭	講師	用務	計
		園舎	敷地				本務	嘱託	兼務				
前田	前田東町 788-1	691	1,525	3	52	15	1			2	2		5
川添	東山崎町 601	983	4,055	5	108	36	1			3	4		9
林	林町 1405-4	771	2,288	5	163	35	1			4	3		8
三溪	三谷町 2316-2	453	1,966	3	95	35		1		2	3		6
香西	香西西町 59-1	958	3,454	6	148	44	1			4	4		9
一宮	一宮町 1233-2	804	2,144	3	81	27	1			2	4		7
多肥	多肥上町 990-2	620	1,702	3	103	35		1		2	3		6
川岡	川部町 524-3	481	2,017	3	46	13	1			2	2		5
円座	円座町 125-2	571	2,285	3	91	35	1			2	4		7
檀紙	御麩町 776-1	566	2,203	3	83	26		1		2	3		6
弦打	鶴市町 360	546	2,353	3	87	34	1			2	4		7
鬼無	鬼無町佐藤 128-1	593	2,112	3	48	20		1		2	2		5
下笠居	生島町 335	667	2,224	3	33	9	1			2	2		5
木太	木太町 3901-1	1,007	2,458	7	209	68	1			5	5		11
山田	川島本町 191-10	531	2,581	3	105	35	1			2	3		6
檀浦	屋島東町 1095-108	444	1,758	3	59	18	1			2	2		5
春日	春日町 744	501	1,891	3	65	13	1			2	3		6
木太北部	木太町 2604-5	889	2,638	6	162	46	1			4	5		10
原	牟礼町原 570-1	679	7,492	3	66	17	1			2	1		4
栗山	牟礼町牟礼 3028	590	1,841	3	73	23	1			2	2		5
田井	牟礼町牟礼 1243-2	551	2,199	3	71	18	1			2	2	1	5
大町	牟礼町大町 605-1	513	1,564	3	47	16	1			2	2		5
庵治	庵治町 853-1	1,464	5,115	3	72	17	1			2	2	1	5
大野	香川町大野 1331-1	642	2,815	3	80	25		1		2	4		7
浅野	香川町浅野 3117	700	2,982	5	108	37	1			4	2		7
川東	香川町川東上 1987-4	678	2,702	3	87	30	1			2	3		6
香南	香南町横井 865-1	494	2,789	4	93	25	1			3	5		9
国分寺北部	国分寺町新居 1870-2	1,189	2,991	6	190	59	1			5	4		10
国分寺南部	国分寺町藤家甲 3123-1	1,706	5,645	7	185	51		1		5	7		13
計 29 園		21,282	79,789	111	2,810	862	23	6	0	77	92	2	200

※ 原幼稚園長は、はらこどもセンター長を兼務する。

(2) 市立小学校

ア 児童・教職員数 () は市費講師

区分 学校名	学級数		児童数		教職員数								
	通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級	校長・教頭・教諭	講師	養護助教諭	養護教諭	事務職	栄養士	用務職員	調理員	計
日新	6	2	122	6	12	1		1	1		1	2	18
二番丁	13	3	440	7	27	3		1	1	1	1	3	37

区分 学校名	学級数		児童数		教職員数							
	通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級	校長・教頭・教諭	講師	養護助教諭・養護教諭	事務職	栄養士	用務職員	調理員	計
四番丁	6	2	127	4	11	1	1	1			2	16
亀阜	21	5	718	10	31	5	1	3	1	2	4	47
栗林	30	3	1,105	10	42	5	2	2	1	1	4	57
花園	12	2	311	5	18	1	1	1	2	1	3	27
松島	12	3	326	6	22	1(1)	1	1	1	1	4	31(1)
築地	6	2	115	5	12	1	1	1		1	2	18
新塩屋町	6	2	157	8	11	1	1	1	1	1	3	19
鶴尾	8	2	227	3	20	(2)	1	1	1	1	3	27(2)
太田	24	2	884	9	31	4	1	1	1	1	4	43
木太	17	3	558	11	25	2	2	1	1	1	3	35
古高松	21	5	722	10	32	3	1	1	1	1	4	43
屋島	19	3	674	8	30	3	1	1		1	4	40
前田	7	2	225	5	15	1	1	1		1	2	21
川添	15	2	509	6	24	1	1	1	1	1	4	33
林	14	2	484	4	21	3	1	2	1	1	3	32
三溪	6	2	186	5	11	2	1	1			2	17
仏生山	14	2	483	2	19	3	1	2	1	2	3	31
香西	18	3	621	7	28	2	1	1	1	1	4	38
一宮	24	4	814	9	37	3	1	2	1	1	4	49
多肥	21	3	718	9	28	3	1	1	1	1	4	39
川岡	6	3	205	6	12	1	1	1			2	17
円座	22	2	708	6	28	2(1)	1	1	1	1	4	38(1)
檀紙	12	4	431	10	20	2	1	1	1	1	3	29
弦打	17	4	554	9	27	2	1	1	2	1	3	37
鬼無	11	1	298	1	16	3	1	1	1	1	3	26
下笠居	12	4	334	14	20	1	1	1	1	1	3	28
女木(休校)												
男木(休校)												
川島	19	4	634	12	29	4	1	1		1		36
十河	17	2	602	8	25	1	2	1		1		30
東植田本校	5	1	45	1	7		1	1		1		10
分校(休校)												
植田	6	2	104	2	9	2	1	1		1		14
中央	23	7	798	31	36	6	1	2	1	1	4	51
太田南	30	3	1,090	11	42	4	2	2	2	1	5	58
木太南	22	2	714	7	28	5	1	2	1	1	3	41
古高松南	15	4	485	6	24	2	1	1	1	1	3	33
屋島東	6	3	171	3	11	1	1	2		1	2	18
屋島西	19	2	645	12	29	3(1)	1	1	1	1	3	39(1)
木太北部	19	4	673	11	28	3	1	1	1	1	4	39
上西	3	1	14	1	4	1(1)	1	1				7(1)
塩江	6	1	53	2	8	1(1)	1	1			1	12(1)
塩江	6	1	53	2	8	1(1)	1	1			1	12(1)
安原本校	6	1	88	1	8	1	1	1			1	12
分校(休校)												
牟礼	12	2	326	2	17	2	1	1	1	1	4	27

区分 学校名	学級数		児童数		教職員数							
	通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級	校長・教頭・教諭	講師	養護助教諭・養護教諭	事務職	栄養士	用務職員	調理員	計
牟礼北	14	3	476	4	23	1	1	1		1		27
牟礼南	7	2	213	5	13		1	1		1		16
庵治 庵治第二(休校)	9	1	247	4	14	1	1	1	1		3	21
大野	17	3	519	7	24	4	2	1		1		32
浅野	16	4	514	12	26	1	1	1		1		30
川東	14	2	473	5	22	2	1	1				26
香南	13	3	431	12	22	2	1	1		1		27
国分寺北部	22	2	763	5	32	2	1	1	1	1	3	41
国分寺南部	25	3	902	8	37	4	2	2		1	3	49
計 55校 2分校	745	139	24,036	367	1,148	113 (7)	58	63	33	46	128	1,589 (7)

イ 施設の現況

学校名	所在地	創設年月	建物面積 (㎡)						敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		給食場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
日新	瀬戸内町 18-2	明治41年4月		2,621		673		159	7,451
二番丁	錦町 2-14-1	明治35年4月		4,982		1,066		204	13,220
四番丁	番町 1-5-1	明治25年4月		4,436		879		240	13,190
亀阜	亀岡町 10-1	明治5年4月		6,342		1,001		315	15,919
栗林	栗林町 2-10-7	明治17年6月	93	6,798		909		215	11,884
花園	花園町 2-7-7	昭和17年9月		4,924		775		184	14,876
松島	松島町 2-14-5	明治10年2月	44	5,458		745		278	15,529
築地	築地町 14-1	明治42年2月		4,116		881		137	9,732
新塩屋町	末広町 5	昭和23年4月		4,470		797		233	10,290
鶴尾	松並町 636-1	明治39年9月		5,435		866		268	17,903
太田	伏石町 845-1	明治30年4月		6,193		1,053		283	15,657
木太	木太町 3480-1	明治19年		7,202		1,038		256	19,820
古高松	高松町 398	明治5年		7,067		1,052		283	21,434
屋島	屋島西町 1205-1	明治20年4月	23	6,697		1,038		283	19,622
前田	前田東町 819-3	明治20年4月		4,290		879		201	13,722
川添	東山崎町 207-1	明治20年4月		6,514		1,050		275	16,576
林	林町 1108-1	明治25年9月		3,421		863		201	10,605
三溪	三谷町 2173-1	明治33年4月		3,162		662		162	11,850
仏生山	仏生山町甲 2461	明治25年4月		4,816		1,038		201	17,909
香西	香西南町 703-1	明治20年4月		5,852		1,066		283	14,474
一宮	一宮町 672-1	明治34年12月		6,383		1,050		245	13,205
多肥	多肥上町 902-2	明治25年4月		5,378		875		251	12,404
川岡	川部町 1552	明治20年4月		3,067		863		162	13,974
円座	円座町 1630-2	明治20年4月		5,091		845		251	11,604
檀紙	御鹿町 816	明治20年4月		4,484		1,065		201	15,331
弦打	鶴市町 374-1	明治25年7月		4,855		1,065		201	14,491
鬼無	鬼無町佐藤 607-1	明治25年9月		3,708		863		235	13,280
下笠居	生島町 345	明治20年4月		4,359		878		202	13,995
女木(休校)	女木町 236-2	明治5年		953		681		45	2,900
男木(休校)	男木町 165	明治17年11月		940				45	7,738
川島	川島東町 864-1	明治26年2月		4,865		883			11,411

学校名	所在地	創設年月	建物面積 (㎡)						敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		給食場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
十河	十川西町 366-5	明治20年3月		3,994		863			11,088
東植田本校	東植田町 2008	明治20年4月		1,741		736			9,371
分校(休校)	菅沢町 339	明治45年4月		497		464		45	3,850
植田	西植田町 2337	明治20年		2,137		642			16,669
中央	松縄町 807-1	昭和49年4月		6,277		845		251	17,647
太田南	太田下町 1823-1	昭和51年4月		6,665		1,053		283	19,290
木太南	木太町 1530-1	昭和52年4月		6,341		1,053		235	18,218
古高松南	新田町甲 2605	昭和55年4月		4,934		1,050		202	16,349
屋島東	屋島東町 942-1	昭和57年4月		2,307		681		162	9,167
屋島西	屋島西町 2469	昭和58年4月		5,767		933		201	19,732
木太北部	木太町 2613	平成2年4月		4,646		884		301	16,030
上西	塩江町上西乙 461	昭和45年		1,106		386		159	4,117
塩江	塩江町安原上東365	明治26年5月		1,653		533		183	5,825
安原本校	塩江町安原第2号1684	明治16年		1,374		625		157	6,300
分校(休校)	塩江町安原第2号857	明治16年	177	34					612
牟礼	牟礼町大町 1560	明治8年	15	3,963		617			14,838
牟礼北	牟礼町牟礼 2900-1	昭和51年		5,365		882			14,695
牟礼南	牟礼町大町 1115-1	昭和55年4月		3,448		665			15,876
庵治	庵治町 790-1	明治5年		4,744		1,253			27,419
庵治第二	庵治町 6034-1	昭和26年		530		522			2,300
大野	香川町大野 1045-1	明治5年6月		4,177		850			17,508
浅野	香川町浅野 3088	明治20年3月		4,654		851			22,800
川東	香川町川東上1865-8	明治29年6月		4,372		840			17,563
香南	香南町横井 1008	昭和39年		3,413		727			16,676
国分寺北部	国分寺町新居 1880	明治25年		5,666		623		258	15,874
国分寺南部	国分寺町福家甲3005	明治25年		5,519		570		277	17,538
計 55校 2分校			352	244,203		46,547		9,213	779,348

(3) 市立中学校

ア 生徒・教職員数 () は市費講師

区分	学級数		児童数		教職員数							
	通常学級	特別学級 支援	通常学級	特別学級 支援	校長・教頭 ・教諭	講師	養護教諭・ 養護助教諭	事務職	栄養士	用務職員	調理員	計
桜町	20	2	743	3	45	2	1	2		1		51
紫雲	21	4	741	5	43	4	1	2		2		52
玉藻	18	2	627	5	37	5	1	1		1		45
光洋	8	2	249	2	16	6(3)	1	1		1		25(3)
城内	3	1	86	2	15	(2)	1	1		1		18(2)
鶴尾	5	1	121	3	20	2(2)	1	1		1		25(2)
屋島	18	2	666	9	36	2	1	1		1		41
協和	14	2	484	7	30	2	1	1		1		35
龍雲	16	2	554	3	29	3	1	1		1		35
勝賀	18	3	643	6	39	3	1	2		1		46
一宮	12	2	383	4	27	1	1	1		1		31
香東	15	3	579	5	31	3	1	1		1		37

区分 学校名	学級数		児童数		教職員数							
	通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級	校長・教頭・教諭	講師	養護教諭・養護助教諭	事務職	栄養士	用務職員	調理員	計
下笠居	6	2	176	10	18	1	1	1		1		22
男木	1		3		4		1	1				6
山田	18	2	675	2	35	4	1	1	2	1	8	52
太田	19	3	665	8	37	3	1	2		1		44
古高	15	3	515	8	33	2	1	1		1		38
木太	15	2	563	3	31	1	1	2		1		36
塩江	3		61		9	2	1	1	1		2	16
牟礼	13	2	493	5	28	1	1	1		1		32
庵治	6	1	140	1	13	1(1)	1	1				16(1)
香川第一	19	2	661	6	37	5	2	1	2	1	11	59
香南	6	1	206	1	17	2	1	1	1		2	24
国分寺	20	3	729	5	39	4	1	2	1	1	3	51
計 24校	309	47	10,763	103	669	59 (8)	25	30	7	21	26	837 (8)

イ 施設の現況

学校名	所在地	創設年月	建物面積 (㎡)						敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		武道場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
桜町	桜町 2-12-4	昭和22年5月	10	7,593		1,077		350	18,259
紫雲	紫雲町 8-25	昭和22年4月		8,170		1,487		350	18,527
玉藻	上福岡町 714-1	昭和25年2月		8,166		2,093			28,883
光洋	松島町 2-14-20	昭和22年4月		4,953		1,112		350	17,819
城内	玉藻町 5-17	昭和31年4月		4,629		837			11,201
鶴尾	松並町 639-1	昭和22年4月		3,652		945		350	14,746
屋島	屋島中町 295	昭和22年4月		7,110		1,098		350	17,414
協和	元山町 88-2	昭和28年4月		6,087		909		350	19,456
龍雲	出作町 331-2	昭和36年4月		5,514		1,072		350	21,040
勝賀	香西南町 565	昭和37年4月	46	7,091		1,049		350	22,162
一宮	一宮町 1185-1	昭和22年4月	45	5,112		904		350	23,091
香東	円座町 771	昭和40年4月		5,712		1,075		350	21,547
下笠居	生島町 372-1	昭和22年5月		2,906		915		350	13,104
男木	男木町 165	昭和22年5月	349	708		686			498
山田	川島東町 1257-1	昭和32年4月		5,146		804		350	21,668
太田	太田下町 1800	昭和57年4月		6,307		1,164		350	18,613
古高	新田町甲 190-1	昭和59年4月		6,962		1,154		350	25,913
木太	木太町 251	昭和61年4月		6,494		1,154		350	26,000
塩江	塩江町安原上 231	昭和36年4月		2,799		2,031			16,727
牟礼	牟礼町牟礼 46-2	昭和22年4月		7,154		1,077		548	31,023
庵治	庵治町 691-1	昭和22年5月		3,832		1,491			21,105
香川第一	香川町浅野 1188	昭和34年2月		7,213		1,914		672	46,884
香南	香南町横井 801	昭和28年4月		4,217		3,528			21,599
国分寺	国分寺町新居 1131-1	昭和36年5月		7,256		873			21,131
計 24校			450	135,207		30,499		6,470	498,410

(4) 高等学校

ア 生徒・教職員数

区分 学校名	学級数	生徒数	教職員数										
			校長	教頭	教諭	常勤講師 期限付	養護助教諭 養護教諭・ 講師	実習指導 講師	時間講師	事務	用務	非常勤嘱託	計
高松第一高等学校	25	930	1	2	55	6	2	2	23	4	1	5	101

イ 施設の現況

学校名	所在地	創設年月	建物面積 (㎡)				敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		
			木造	非木造	木造	非木造	
高松第一高等学校	桜町二丁目5番10号	昭和3年4月		14,215		4,086	38,733

2 学校給食調理場

	調理場数	対象学校数	対象児童・生徒数
単独調理場	25	25(小学校23 中学校2)	10,336
共同調理場	22	51(小学校29 中学校22)	24,933

3 少年育成センター

名称	所在地	設置日	運営機構
高松市少年育成センター	番町一丁目8番15号 (高松市役所本庁舎10階)	昭和39年 4月1日	所長1名, 所長補佐1名 補導係11名(専門指導員7 名含む非常勤嘱託8名),

4 教育研究所

ア 施設等の概要

名称	所在地	設置日
高松市教育研究所	松島町一丁目15番1号 (高松市市民文化センター内) 《適応指導教室》	昭和57年4月1日
	・虹の部屋 観光通2-3-19	平成3年6月1日
	・みなみ 香川町川東上1659-4	平成18年1月10日
		合併により香川町から引き継ぐ。

イ 運営機構

所長(嘱託)1名, 副所長1名, 副主幹1名, 主任主事1名, 指導主事4名,
研修指導員(嘱託)6名, 事務員(嘱託)1名

研究委員 28 名 (大学, 幼稚園および小中学校教員)

《適応指導教室》

室長 (嘱託) 1 名, 指導員 (嘱託) 2 名, 指導援助者 (嘱託) 3 名

5 社会教育施設

(1) 生涯学習センター

ア 施設等の概要

名 称	所 在 地	延床面積	運営機構	開館日
生涯学習センター 愛称: まなびCAN	片原町 11 番地 1 (むうぶ片原町ビル)	3,186.24 m ²	館長 1 人, 副館長 1 人, 副館長補佐 2 人, 業務係 3 人, 嘱託 6 人 (内 2 人は夜間管理人)	平成 14 年 5 月 1 日

(2) 地区公民館

公民館名	所在地	延床面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	設置年	職員の配置	
					職員	非常勤嘱託
塩江	塩江町安原下第 2 号 1645	598	6,440	平成 17 年	館長 1 (兼務) 主事 1	
牟礼	牟礼町牟礼 130-2	1,553	8,652	昭和 46 年	館長 1 (事務代理) 主事 1	主事 2
大町	牟礼町大町 1463-2	494	1,200	昭和 56 年		館長 1 主事 1
○牟礼南	牟礼町大町 1038-1	398	542	昭和 63 年		
庵治	庵治町 888-1	1,516	2,844	昭和 59 年	館長 1 (事務代理)	主事 1
大野	香川町大野 1329-1	610	1,528	昭和 35 年		館長 1 主事 1
浅野	香川町浅野 826-2	480	1,158	昭和 35 年	館長 1 (兼務) 主事 1	主事 1
○浅野北部	香川町浅野 348-47	104	330	昭和 35 年		
香南	香南町由佐 1167	1,158	1,621	昭和 46 年		館長 1 主事 1
国分寺北部	国分寺町新居 1840-6	1,103	2,345	昭和 30 年		館長 1 主事 1
国分寺南部	国分寺町福家甲 3106-3	502	792	昭和 30 年		館長 1 主事 1
○新居	国分寺町新居 387-2	407	357	平成 14 年		
○福家	国分寺町福家乙 21-43	353	315	平成 12 年		
計	地区公民館 9 ○管理公民館 4					館長 9 主事 12

(3) 図 書 館

ア 施設等の概要

名 称	所在地	延床面積	開館日
高松市中央図書館	昭和町一丁目2番20号 (サンクリスタル高松内)	8,718.00 m ²	平成4年11月3日
高松市松島図書館	松島町一丁目15番1号 (高松市市民文化センター内)	971.28 m ²	昭和47年7月21日
高松市牟礼図書館	牟礼町牟礼130番地2 (高松市牟礼公民館内)	596.00 m ²	昭和56年6月2日
高松市香川図書館	香川町川東上1865番地13 (高松市香川支所隣)	3,055.21 m ²	平成19年4月28日
高松市国分寺図書館	国分寺町新居1298番地 (高松市国分寺支所隣)	800.30 m ²	平成元年4月4日

イ 運営機構

中央図書館	館長1名, 館長補佐2名, 管理係4名, 資料係7名(含嘱託2名), 館内サービス係22名(含嘱託17名), 業務係2名(含嘱託1名), 移動図書館係7名(含嘱託1名)
松島図書館	館長1名, サービス係6名(含嘱託3名)
牟礼図書館	館長1名, 館員5名(含嘱託4名)
香川図書館	館長1名, 館員6名(含嘱託4名)
国分寺図書館	館長(事務取扱)1名, 館員4名(含嘱託2名)

ウ 図 書

(平成19年度末現在)(単位:件)

	中 央	松 島	牟 礼	香 川	国分寺	移動図書館・分室	計
一 般	355,741	139,363	31,718	69,134	45,522	63,640	705,118
児 童	72,739	27,845	11,906	11,591	13,122	45,675	182,878
郷 土 資 料	17,226	951	2,005	1,058	2,515	1,381	25,136
郷土人文庫	4,166	63	5	159	13	5	4,411
計	449,872	168,222	45,634	81,942	61,172	110,701	917,543

エ 視聴覚資料

(平成19年度末現在)(単位:件)

	中 央	松 島	牟 礼	香 川	国分寺	計
C D	16,959	890	1,385	1,150	3,465	23,849
ビデオテープ	9,297		7			9,304
レーザーディスク	1,614					1,614
カセットテープ	2,520	170	18	149		2,857
D V D	1,036	1	15	3	1	1,056
マイクロフィルム	1,266					1,266
CD-ROM等	60	7	13			80
計	32,752	1,068	1,438	1,302	3,466	40,026

オ 絵本・紙芝居等

(平成19年度末現在)(単位:件)

	中 央	松 島	牟 礼	香 川	国分寺	移動図書館・分室	計
絵 本	39,158	15,784	5,500	8,490	6,532	20,539	96,003
紙 芝 居	2,915	1,501	432	1,137	840	2,040	8,865
コ ミ ッ ク	7,067	6,622	456	4,203	1,189	308	19,845
計	49,140	23,907	6,388	13,830	8,561	22,887	124,713

カ 館外貸出

(平成19年度末現在)(単位:件)

区分 配置等	一般書	児童書	A V	計	備考
中央図書館	777,078	409,363	168,596	1,355,037	開館日数289日(一日平均4,689)
松島図書館	313,949	143,336	3,310	460,595	開館日数289日(一日平均1,594)
牟礼図書館	76,710	66,538	8,216	151,464	開館日数289日(一日平均524)
香川図書館	189,270	118,732	9,424	317,426	開館日数266日(一日平均1,193)
国分寺図書館	121,579	135,741	17,423	274,743	開館日数289日(一日平均951)
移動図書館	60,196	85,734		145,930	93ステーション(内2は5月末廃止)
分室	16,035	14,748		30,783	47分室
計	1,554,817	974,192	206,969	2,735,978	

(4) 歴史資料館

ア 施設等の概要

名称	所在地	延床面積	開館日
高松市歴史資料館	昭和町一丁目2番20号 (サンクリスタル高松4階)	1,925 m ²	平成4年11月3日
高松市石の民俗資料館	牟礼町牟礼1810番地	1,709.86 m ²	平成7年3月20日
高松市香南歴史民俗郷土館	香南町由佐253番地1	1,144.30 m ²	平成10年5月3日
高松市讃岐国分寺跡資料館	国分寺町国分2177番地1	288 m ²	平成5年9月4日

イ 運営機構

歴史資料館	館長1名(嘱託), 業務係長1名, 業務係8名(含嘱託6名)
石の民俗資料館	館長1名(嘱託), 係員6名(含嘱託5名)
香南歴史民俗郷土館	館長1名(嘱託), 係員2名(嘱託)
讃岐国分寺跡資料館	館長1名(併任), 係員2名(含嘱託1名)

ウ 収蔵資料

(平成19年度末現在)(単位:点)

	歴史資料	民俗資料	美術資料	考古資料	玩具資料	その他	合計
歴史資料館	25,236	12,426	3,274	5,155	4,435	165	50,691
石の民俗資料館	19	6,284		3		290	6,596
香南歴史民俗郷土館	3,170	392	5	87		439	4,093
讃岐国分寺跡資料館				86			86

(5) 菊池寛記念館

ア 施設等の概要

名称	所在地	延床面積	開館日
菊池寛記念館	昭和町一丁目2番20号 (サンクリスタル高松3階)	687 m ²	平成4年11月3日

イ 運営機構

館長 1 名（兼務），業務係長 1 名，業務係 6 名（含嘱託 5 名）

ウ 図書等

（平成 19 年度末現在）（単位：点）

区 分	菊池寛文庫	展示・閲覧用	DVD	マイクロフィルム
図 書	1,139	8,727	1	333
実物資料		867		